

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2023年7月11日提出
【発行者名】	フランクリン・templton・ジャパン株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 桑畑 卓
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
【事務連絡者氏名】	明石 晃仁
【電話番号】	03-5219-5700
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）（以下「ファンド」といいます。）

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

- ・追加型証券投資信託受益権です。（以下「受益権」といいます。）
 - ・信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付、または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。
- ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（11）振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社債、株式等の振替に関する法律第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

1兆円を上限とします。

（４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

- ・基準価額につきましては、販売会社または「（８）申込取扱場所」の照会先にお問い合わせください。

（５）【申込手数料】

申込手数料は、販売会社が定めるものとします。

販売会社毎の手数料率等の詳細については、各販売会社にお問い合わせください。

- ・有価証券届出書提出日現在、販売会社における申込手数料はありません。

（６）【申込単位】

販売会社が定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

（７）【申込期間】

2023年7月12日から2024年1月10日までとします。

- ・上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

（８）【申込取扱場所】

販売会社につきましては、委託会社の照会先にお問い合わせください。

< 委託会社の照会先 >

フランクリン・templton・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<https://www.franklintempleton.co.jp>

電話番号：03-5219-5940

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

(9) 【払込期日】

- ・取得申込者は、申込金額を販売会社が指定する期日までに販売会社に支払うものとします。
- ・申込期間における各取得申込受付日の発行価額の総額（設定総額）は、販売会社によって、追加設定が行なわれる日に委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

(10) 【払込取扱場所】

申込金額は、販売会社にお支払いいただきます。

(11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は、株式会社証券保管振替機構とします。

(12) 【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

主に日本を除く世界の公社債に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの基本的性格

1) 商品分類

単体型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単体型投信	国内	株式 債券
	海外	不動産投信
追加型投信	内外	その他資産 () 資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

2) 属性区分

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (除く日本)		
	年2回	日本		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年4回	北米	ファミリーファンド	あり ()
	年6回 (隔月)	欧州		
	年12回 (毎月)	アジア		
	日々	オセアニア		
不動産投信	日々	中南米	ファンド・オブ・ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券 (債券・一般))	その他 ()	アフリカ		
資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型		中近東 (中東)		
		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用されます。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券（債券・一般）））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

< 商品分類の定義 >

1. 単位型投信・追加型投信の区分

- (1) 単位型投信：当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいう。
- (2) 追加型投信：一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

2. 投資対象地域による区分

- (1) 国内：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 海外：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 内外：目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

3. 投資対象資産による区分

- (1) 株式：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 不動産投信(リート)：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4) その他資産：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5) 資産複合：目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

4. 独立した区分

- (1) MMF(マネー・マネージメント・ファンド)：「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMFをいう。
- (2) MRF(マネー・リザーブ・ファンド)：「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRFをいう。
- (3) ETF：投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

< 補足として使用する商品分類 >

- (1) インデックス型：目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2) 特殊型：目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

< 属性区分の定義 >

1. 投資対象資産による属性区分

(1) 株式

一般：次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいう。

大型株：目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。

中小型株：目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。

(2)債券

一般：次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいう。

公債：目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。

社債：目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。

その他債券：目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。

格付等クレジットによる属性：目論見書又は投資信託約款において、上記 から の「発行体」による区別のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記 から に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。

(3)不動産投信

これ以上の詳細な分類は行わないものとする。

(4)その他資産

組入れている資産を記載するものとする。

(5)資産複合

以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

資産配分固定型：目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

資産配分変更型：目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

2. 決算頻度による属性区分

年1回：目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。

年2回：目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。

年4回：目論見書又は投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。

年6回(隔月)：目論見書又は投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。

年12回(毎月)：目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。

日々：目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。

その他：上記属性にあてはまらない全てのものをいう。

3. 投資対象地域による属性区分(重複使用可能)

グローバル：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。

日本：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

北米：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

欧州：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

アジア：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

オセアニア：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

中南米：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

アフリカ：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

中近東(中東)：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

エマージング：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

4. 投資形態による属性区分

ファミリーファンド：目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。

ファンド・オブ・ファンズ：「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

5. 為替ヘッジによる属性区分

為替ヘッジあり：目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。

為替ヘッジなし：目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

6. インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分

日経225

TOPIX

その他の指数：前記指数にあてはまらない全てのものをいう。

7. 特殊型

ブル・ベア型：目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動(一定倍の連動若しくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。

条件付運用型：目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。

ロング・ショート型/絶対収益追求型：目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。

その他型：目論見書又は投資信託約款において、上記 から に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

上記は、一般社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。また、商品分類および属性区分の定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。なお、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<https://www.toushin.or.jp/>) でもご覧頂けます。

ファンドの特色

特色1 主に日本を除く世界の公社債に投資します

- ウエスタン・グローバル債券マザーファンド(以下「マザーファンド」ということがあります。)を通じて、主に日本を除く世界の公社債に投資を行います。
- ブルームバーグ・グローバル総合(日本円除く)インデックス(円換算ベース)*をベンチマークとします。
 - *ブルームバーグ・グローバル総合(日本円除く)インデックス(円換算ベース)は、ブルームバーグ・グローバル総合(日本円除く)インデックスを委託会社が独自に円換算したものです。
[Bloomberg®]およびブルームバーグ・グローバル総合(日本円除く)インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、フランクリン・templton・ジャパン株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフランクリン・templton・ジャパン株式会社とは提携しておらず、また、ウエスタン・グローバル債券ファンド(SMA専用)を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ウエスタン・グローバル債券ファンド(SMA専用)に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
- 原則として、取得時において1社以上の格付機関から投資適格(BBB-／Baa3)以上の長期格付けが付与された、あるいはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債を主要投資対象とします。ただし、取得時において信託財産の20%を上限としてこれを下回る信用力の公社債に投資することがあります。
- 外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、マザーファンドでは、通貨見通しに基づいて相対的に魅力があると判断される通貨に、為替予約取引等を通じて資産配分することがあります。

特色2 ファミリーファンド方式により運用を行います

- 「ファミリーファンド方式」とは、投資者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※委託会社は、上記マザーファンドに投資を行う当ファンド以外のベビーファンドの設定・運用を行うことがあります。

特色3 運用はフランクリン・テンプレートン・グループのウエスタン・アセットが行います

- マザーファンドの運用は、資産運用会社である「ウエスタン・アセット」の次のグループ各社(以下「投資顧問会社」)に委託します。

名称	所在地
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー	米国
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド	英国
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ディーティーブイエム・リミターダ*	ブラジル
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド	シンガポール
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド	オーストラリア
ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社	日本

*Western Asset Management Company Distribuidora de Títulos e Valores Mobiliários Limitada

WESTERN ASSET

ウエスタン・アセット

- ー設立:1971年、本部:米国カリフォルニア州
- ー運用資産約4,021億米ドル。(約54兆円)*

*2023年3月末現在。米ドルの円貨換算は、株式会社三菱UFJ銀行の2023年3月末現在の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=133.53円)によります。

ウエスタン・アセットの拠点



ファンドの投資制限

- 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- 投資信託証券(マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- 為替予約の利用およびデリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

分配方針

毎決算時(毎年10月9日、休業日の場合は翌営業日)に収益分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益(マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当等収益」といいます。)を含みます。)および売買益(評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。)等の全額とします。
 - 収益分配金額は、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
 - 分配対象額が少額等の場合は、分配を行わない場合があります。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

信託金限度額

- ・ 1兆円を限度として信託金を追加することができます。
- ・ 委託会社は受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

(2) 【ファンドの沿革】

2018年10月10日

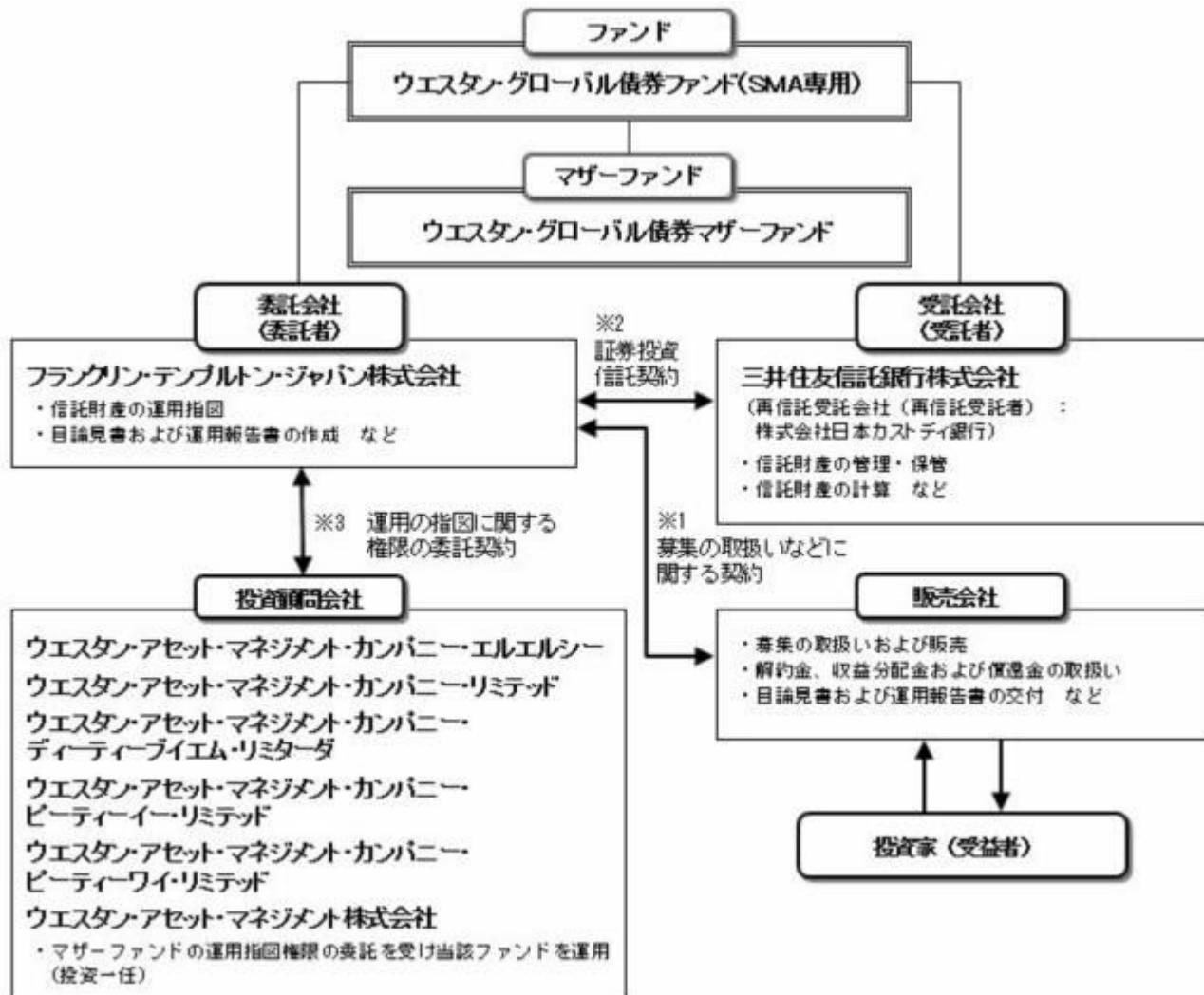
・ファンドの信託契約締結、運用開始

2022年7月12日

- ・ファンドの名称を「LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）」から「ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）」に変更
- ・マザーファンドの名称を「LM・ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」から「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」に変更

（3）【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み



- 1 投資信託を販売するルールを委託会社と販売会社の間で規定したものの。販売会社が行なう募集の取扱い、収益分配金・償還金の支払い、解約請求の受付の業務範囲の取決めの内容などが含まれています。
- 2 投資信託を運営するルールを委託会社と受託会社の間で規定したものの。運用の基本方針、投資対象、投資制限、信託報酬、受益者の権利、募集方法の取決めの内容などが含まれています。
- 3 投資顧問会社に運用の指図に関する権限を委託するにあたり、そのルールを委託会社と投資顧問会社との間で規定したものの。委託する業務内容、報酬の取決めの内容などが含まれています。

委託会社の概況（2023年4月末現在）

- 1) 資本金
1,000百万円
- 2) 沿革
1998年4月28日 ソロモン投信委託株式会社設立
1998年6月16日 証券投資信託委託会社免許取得
1998年11月30日 投資顧問業登録

1999年6月24日	投資一任契約に係る業務の認可取得
1999年10月1日	スミス バーニー投資顧問株式会社と合併、「エスエスピーシティ・アセット・マネジメント株式会社」に社名変更
2001年4月1日	「シティグループ・アセット・マネジメント株式会社」に社名変更
2006年1月1日	「レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」に社名変更
2007年9月30日	金融商品取引業登録
2021年4月1日	フランクリン・templton・インベストメンツ株式会社と合併、「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に社名変更

3) 大株主の状況

名 称	住 所	所有株数	所有比率
フランクリン・templton・キャピタル・ホールディングス・プライベート・リミテッド	シンガポール共和国038987 サンテックタワーワン 38-03 テマセック大通り7	78,270株	100%

フランクリン・templton・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソーシズ・インク傘下の資産運用会社です。

2【投資方針】

（1）【投資方針】

「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）をベンチマークとします。

「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。

資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（2）【投資対象】

<ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）>

「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1) 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。

以下同じ。）

イ) 有価証券

ロ) デリバティブ取引（金融商品取引法第2条第20項に掲げるものをいい、約款第23条、第24条及び第25条に定めるものに限りません。）に係る権利

ハ) 約束手形

ニ) 金銭債権

2) 次に掲げる特定資産以外の資産

イ) 為替手形

有価証券の指図範囲

委託者は、信託金を、主として、フランクリン・templton・ジャパン株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託であるウエスタン・グローバル債券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券及び次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1) 株券

- 2) 国債証券
 - 3) 地方債証券
 - 4) 特別の法律により法人の発行する債券
 - 5) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 - 6) 資産の流動化に関する法律に規定する特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - 7) 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
 - 8) 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 - 9) 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 - 10) コマーシャル・ペーパー
 - 11) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）及び新株予約権証券
 - 12) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1) から11) までの証券または証書の性質を有するもの
 - 13) 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 - 14) 投資証券、新投資口予約権証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 - 15) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 - 16) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
 - 17) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 - 18) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 - 19) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 - 20) 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 - 21) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 - 22) 外国の者に対する権利で21) の有価証券の性質を有するもの
- なお、1) の証券並びに12) 及び17) の証券または証書のうち1) の証券の性質を有するものを以下「株式」といい、2) から6) までの証券並びに12) 及び17) の証券または証書のうち2) から6) までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、13) 及び14) の証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

委託者は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

- 1) 預金
- 2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
- 3) コール・ローン
- 4) 手形割引市場において売買される手形
- 5) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
- 6) 外国の者に対する権利で5) の権利の性質を有するもの

上記 の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を上記 の1) から6) までに掲げる金融商品により運用することを指図することができます。

<ウエスタン・グローバル債券マザーファンド>

主に日本を除く世界の公社債を主要投資対象とします。

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 1) 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ) 有価証券
 - ロ) デリバティブ取引（金融商品取引法第2条第20項に掲げるものをいい、約款第21条、第22条及び第23条に定めるものに限りません。）に係る権利
 - ハ) 約束手形
 - ニ) 金銭債権
- 2) 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ) 為替手形

有価証券の指図範囲

委託者（投資顧問会社を含みます。）は、信託金を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

- 1) 株券
 - 2) 国債証券
 - 3) 地方債証券
 - 4) 特別の法律により法人の発行する債券
 - 5) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 - 6) 資産の流動化に関する法律に規定する特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - 7) 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
 - 8) 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 - 9) 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 - 10) コマーシャル・ペーパー
 - 11) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）及び新株予約権証券
 - 12) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1) から11) までの証券または証書の性質を有するもの
 - 13) 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 - 14) 投資証券、新投資口予約権証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 - 15) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 - 16) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限りません。）
 - 17) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 - 18) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 - 19) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限りません。）
 - 20) 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 - 21) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 - 22) 外国の者に対する権利で21) の有価証券の性質を有するもの
- なお、1) の証券並びに12) 及び17) の証券または証書のうち1) の証券の性質を有するものを以下「株式」といい、2) から6) までの証券並びに12) 及び17) の証券または証書のうち2) から6) までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、13) 及び14) の証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

委託者は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

- 1) 預金
- 2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
- 3) コール・ローン
- 4) 手形割引市場において売買される手形
- 5) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
- 6) 外国の者に対する権利で5)の権利の性質を有するもの

上記 の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を上記 の1)から6)までに掲げる金融商品により運用することを指図することができます。

投資対象とするマザーファンドの概要

<ウエスタン・グローバル債券マザーファンド>

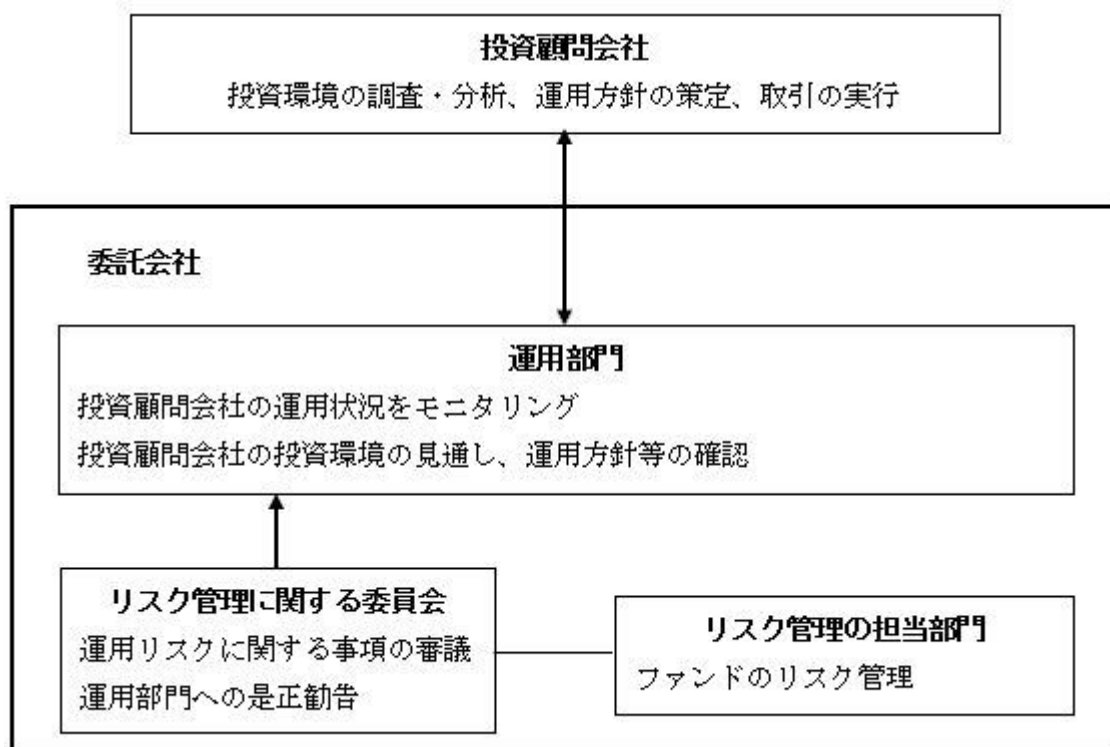
運用の基本方針	
基本方針	この投資信託は、主に日本を除く世界の公社債に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主な投資対象	主に日本を除く世界の公社債を主要投資対象とします。
投資態度	<p>主に、日本を除く世界の公社債に投資します。</p> <p>ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）をベンチマークとします。</p> <p>原則として、取得時において1社以上の格付機関から投資適格（BBB- / Baa3）以上の長期格付けが付与された、あるいはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債を主要な投資対象としますが、取得時において信託財産の20%を上限としてこれを下回る信用力の公社債に投資することがあります。</p> <p>外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、通貨見通しに基づいて相対的に魅力があると判断される通貨に、為替予約取引等を通じて資産配分することがあります。</p> <p>資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p> <p>運用の指図に関する権限を、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ディーティーブイエム・リミターダ、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド及びウエスタン・アセット・マネジメント株式会社に委託します。</p>
主な投資制限	<p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>為替予約の利用及びデリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。</p> <p>一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>

収益分配	収益分配は行いません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	フランクリン・templton・ジャパン株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

(3) 【運用体制】

ファンドの運用体制

当ファンドの実質的な運用はマザーファンドにて行います。その運用は、委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社が行います。



運用部門は3名、リスク管理の担当部門は2名で構成されています。

内部管理体制および意思決定を監督する組織等

委託会社では、組織規則においてファンドの運用に関係する部署を規定しており、証券投資信託委託業務にかかる業務運営規程において、証券投資信託にかかわる信託財産の運用に関し、基本的な事項を定めております。また、実際の売買執行等について社内規程を設けているほか、各部署において業務マニュアルを策定しております。

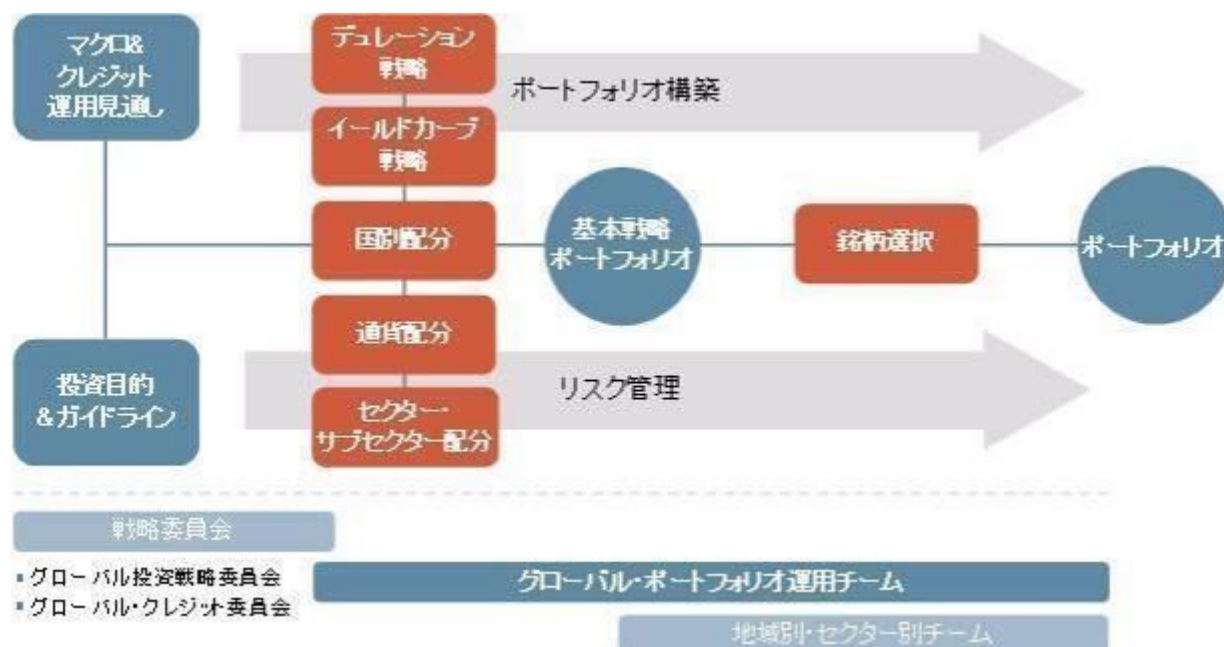
運用に関しては、運用部門及び関連部署の代表で構成される社内委員会が開催され、各ファンドの運用状況の報告のほか、その他運用に関する事項について審議します。

ファンドのリスク管理は、運用部門から独立したリスク管理の担当部門が行います。また、リスク管理に関する委員会において、ファンドのパフォーマンス評価、リスク分析、運用ガイドラインモニタ

リング結果に関する報告等、その他運用リスクに関する事項について審議し、必要に応じて運用部門に対して是正勧告を行います。

（参考）投資顧問会社の運用プロセス

マザーファンドの運用は、フランクリン・テンプルトン・グループの資産運用会社である「ウエスタン・アセット」に委託します。投資顧問会社では、信託約款、投資一任契約書及び委託会社から指示された運用に関するガイドラインを遵守して運用を行います。



委託会社によるファンドの関係法人に対する管理体制

委託会社は、投資顧問会社へのファンドの運用指図に関する権限の委託が適切であるかどうかについてモニタリングを継続的に実施します。具体的には、定期的に投資顧問会社の実績、組織、人材、法令等の遵守状況に関する調査を実施します。委託会社は、受託会社または再信託受託会社に対して、内部統制に関する外部監査人による報告書の提出を求めるほか、担当部署による委託会社独自の確認作業を実施し、受託会社等の業務状況についてモニタリングを行っています。

上記体制は2023年4月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

収益分配方針

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。

- 1) 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額とします。
- 2) 収益分配金額は、基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わない場合があります。
- 3) 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

収益分配金の支払い

< 分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース） >

原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。

< 分配金受取りコース（一般コース） >

毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として決算日から起算して5営業日ま

で）から収益分配金を支払います。支払いは販売会社において行なわれます。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

（５）【投資制限】

約款に定める投資制限

<ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）>

- 1) 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- 2) 新株引受権証券及び新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- 3) 同一銘柄の転換社債、並びに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号及び第8号の定めがある新株予約権付社債を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- 4) 投資信託証券（マザーファンド受益証券及び上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- 5) 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- 6) 為替予約の利用及びデリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。
- 7) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
- 8) 投資する株式等の範囲
 - イ) 委託者が投資することを指図する株式、新株引受権証券及び新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの及び金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券及び新株予約権証券については、この限りではありません。
 - ロ) イ)の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券及び新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。
- 9) 信用取引の指図範囲
 - イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
 - ロ) イ)の信用取引の指図は、次に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 1. 信託財産に属する株券
 2. 株式分割により取得する株券
 3. 有償増資により取得する株券
 4. 売出しにより取得する株券
 5. 信託財産に属する転換社債の転換請求及び新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号及び第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使により取得可能な株券
 6. 信託財産に属する新株引受権証券及び新株引受権付社債券の新株引受権の行使または信託財産に属する新株予約権証券及び新株予約権付社債券の新株予約権（5.に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券
- 10) 先物取引等の運用指図

- イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)及び有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)並びに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取扱うものとします(以下同じ。)
- ロ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引並びに外国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引及びオプション取引を行うことの指図をすることができます。
- ハ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引及びオプション取引並びに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- 11) スワップ取引の運用指図
- イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行うことの指図をすることができます。
- ロ) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- ニ) 委託者は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- 12) 金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引の運用指図
- イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- ロ) 金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ) 金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額または価格情報会社の提供する価額で評価するものとします。
- ニ) 委託者は、金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- ホ) 12) に規定する「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日(以下「決済日」といいます。)における決済日から一定の期間を経過した日(以下「満期日」といいます。)までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率(以下「指標利率」といいます。)の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額及び当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
- ヘ) 12) に規定する「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引(同一の相手方との間で直物外国為替取引及び当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。以下へ)において同じ。)のスワップ幅(当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。以下へ)において同じ。)を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引い

た額の金銭の授受を約する取引をいいます。

ト) 12) に規定する「直物為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金の授受を約する取引その他これに類似する取引をいいます。

13) デリバティブ取引等に係る投資制限

委託者は、デリバティブ取引等（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号に定めるデリバティブ取引をいいます。）について、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。

14) 有価証券の貸付の指図及び範囲

イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式及び公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。

1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。

2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

ロ) イ) の1. および2. に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

ハ) 委託者は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

15) 公社債の空売りの指図範囲

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。

ロ) イ) の売付の指図は、当該売付に係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

ハ) 信託財産の一部解約等の事由により、イ) の売付に係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

16) 公社債の借入れ

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。

ロ) イ) の指図は、当該借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

ハ) 信託財産の一部解約等の事由により、イ) の借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

ニ) イ) の借入れに係る品借料は信託財産中から支弁します。

17) 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

18) 外国為替予約取引の指図

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引を指図することができます。

ロ) イ) の予約取引の指図は、信託財産に係る為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額（信託財産に属するマザーファンドの時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額について、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。

ハ) ロ) の限度額を超えることとなった場合には、委託者は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

二) 委託者は、外国為替の売買の予約取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

19) 資金の借入れ

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用並びに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金及び有価証券等の償還金の合計額を限度とします。

ハ) 収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

二) 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

<ウエスタン・グローバル債券マザーファンド>

1) 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

2) 新株引受権証券及び新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

3) 同一銘柄の転換社債、並びに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号及び第8号の定めがある新株予約権付社債を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

4) 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

5) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

6) 為替予約の利用及びデリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

7) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

8) 投資する株式等の範囲

イ) 委託者が投資することを指図する株式、新株引受権証券及び新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの及び金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券及び新株予約権証券については、この限りではありません。

ロ) イ)の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券及び新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。

9) 信用取引の指図範囲

イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。

ロ) イ)の信用取引の指図は、次に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。

1. 信託財産に属する株券

2. 株式分割により取得する株券

3. 有償増資により取得する株券

4. 売出しにより取得する株券

5. 信託財産に属する転換社債の転換請求及び新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株

予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの(以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号及び第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。)の新株予約権に限ります。)の行使により取得可能な株券

6. 信託財産に属する新株引受権証券及び新株引受権付社債券の新株引受権の行使または信託財産に属する新株予約権証券及び新株予約権付社債券の新株予約権(5.に定めるものを除きます。)の行使により取得可能な株券

10) 先物取引等の運用指図

- イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)及び有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)並びに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取扱うものとします(以下同じ。)
- ロ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引並びに外国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引及びオプション取引を行うことの指図をすることができます。
- ハ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引及びオプション取引並びに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

11) スワップ取引の運用指図

- イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行うことの指図をすることができます。
- ロ) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- ニ) 委託者は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

12) 金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引の運用指図

- イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- ロ) 金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ) 金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額または価格情報会社の提供する価額で評価するものとします。
- ニ) 委託者は、金利先渡取引、為替先渡取引及び直物為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- ホ) 12)に規定する「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日(以下「決済日」といいます。)における決済日から一定の期間を経過した日(以下「満期日」といいます。)までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率(以下「指標利率」といいます。)の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額及び当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
- ヘ) 12)に規定する「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引(同一の相手方との間で直物外国為替取引及び当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。以下へ)において同じ。)のスワップ幅(当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係

る外国為替相場との差を示す数値をいいます。以下へ)において同じ。)を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

ト) 12) に規定する「直物為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金の授受を約する取引その他これに類似する取引をいいます。

13) デリバティブ取引等に係る投資制限

委託者は、デリバティブ取引等(金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号に定めるデリバティブ取引をいいます。)について、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。

14) 有価証券の貸付の指図及び範囲

イ) 委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式及び公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。

1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

ロ) イ) の1.および2.に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

ハ) 委託者は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

15) 公社債の空売りの指図範囲

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債(信託財産により借入れた公社債を含みます。)の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。

ロ) イ) の売付の指図は、当該売付に係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

ハ) 信託財産の一部解約等の事由により、イ) の売付に係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

16) 公社債の借入れ

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。

ロ) イ) の指図は、当該借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

ハ) 信託財産の一部解約等の事由により、イ) の借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

ニ) イ) の借入れに係る品借料は信託財産中から支弁します。

17) 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

18) 外国為替予約取引の指図

イ) 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引を指図することができます。

ロ) イ) の予約取引の指図は、信託財産に係る為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につ

き円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。

八) 口) の限度額を超えることとなった場合には、委託者は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

二) 委託者は、外国為替の売買の予約取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

法令による投資制限

同一法人の発行する株式（投資信託及び投資法人に関する法律）

同一法人の発行する株式について、委託会社が運用の指図を行なう投資信託全体で、当該株式の議決権の過半数を保有することとなる取引は行ないません。

3【投資リスク】

(1) 投資リスク（基準価額の変動要因）

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。

したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの主なリスクは、以下の通りです。なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

為替変動リスク（円高になると、基準価額が下がるリスク）

一般的に外国為替相場が円高となった場合には、実質的に保有する外貨建資産に為替差損（円換算した評価額が減少すること）が発生することにより、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

金利変動リスク（金利が上がると、基準価額が下がるリスク）

一般的に債券の価格は、金利が上昇した場合には下落し、金利が低下した場合には上昇します。投資対象とする国・地域の金利が上昇し、保有する債券の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク（信用・格付が下がると、基準価額が下がるリスク）

一般的に公社債、コマーシャル・ペーパー及び短期金融商品のデフォルト（元金支払いの不履行または遅延）、発行会社の倒産や財務状況の悪化及びこれらに関する外部評価の変化等があった場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

カントリーリスク（新興国に投資するリスク）

一般的に、新興国では法制度・会計基準等が先進国と異なる場合や、情報開示規制・決済システム等が未整備である場合があります。これらの要因により、新興国の有価証券は、先進国の有価証券と比較して、流動性が低く価格変動が大きくなる場合があります。また、政治・経済情勢の変化、投資機会に影響を与える規制が発動された場合等には、基準価額が大幅に変動または下落する可能性があります。

デリバティブ取引等のリスク

保有資産の価格変動リスクを回避する目的に加えて、当ファンドの収益向上を追求するために債券、為替、金利関連のデリバティブ（金融派生商品）及び為替予約取引を活用することがあります。これらの取引の価格は、市場動向や環境変化によって変動します。そのため、デリバティブ等の価格変動が基準価額の変動により大きな影響を与える可能性があります。また、店頭取引を行う場合には、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になるリスクがあります。

<その他の留意点>

解約代金の支払資金を手当するために保有証券を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や流動性等の状況によっては基準価額が大きく下落する可能性があります。また、保有証券の売却代金回収までの期間、一時的に当ファンドで資金借入れを行うことによって当ファンドの解約代金の支払いに対応する場合、借入金利は当ファンドが負担することになります。

収益分配金は分配方針に基づいて毎決算時に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わないことがあります。

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当初設定及び償還前の一定期間、大量の追加設定または解約による資金動向の急変時、急激な市況変動が発生もしくは予想されるときは、当ファンドの投資の基本方針にしたがった運用ができない場合があります。

当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用を行うため、マザーファンドにおいて他のベビーファンドによる追加設定、一部解約等に伴う有価証券の売買等が行われた場合、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

（２）リスク管理体制

委託会社では、運用部門から独立したリスク管理の担当部門が、ファンドのリスク管理を行います。

また、リスク管理に関する委員会において、ファンドのパフォーマンス評価、リスク分析、運用ガイドラインモニタリング結果に関する報告、その他運用リスクに関する事項について審議し、必要に応じて運用部門に対して是正勧告を行います。

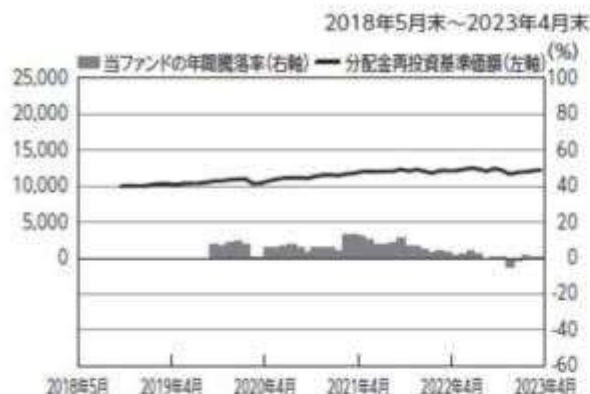
流動性リスクについては、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。

エグゼクティブ・マネジメント・コミッティは、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

上記体制は2023年4月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

参考情報

ファンドの年間騰落率及び 分配金再投資基準価額の推移



- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。設定日前日を10,000として指数化し、設定日の属する月末より表示しております。
- * 年間騰落率は、2019年10月から2023年4月の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

ファンドと代表的な 資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△5.2	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△9.4
平均値	5.0	5.8	14.2	5.5	△0.4	2.7	1.8

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年5月から2023年4月の5年間(当ファンドは2019年10月から2023年4月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※)各資産クラスの指数

- 日本株…東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債…NOMURA-BPI国債
- 先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、同らの責任も負いません。

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

上記の分配金再投資基準価額および年間騰落率はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込手数料は、販売会社が定めるものとします。

販売会社毎の手数料率等の詳細については、各販売会社にお問い合わせください。

- ・有価証券届出書提出日現在、販売会社における申込手数料はありません。
- ・＜分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）＞の場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、申込手数料はかかりません。
- ・販売会社によっては、償還乗換、乗換優遇の適用を受けることができます場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

申込手数料は、ファンド及び関連する投資環境の説明並びに情報提供、購入に関する事務手続き等の対価として、購入時にお支払いいただくものです。

（２）【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に対し年0.462%（税抜0.42%）の率を乗じて得た額とします。

信託報酬の配分

信託報酬の配分（年率）は、以下の通りとします。

信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率			
合計	委託会社	販売会社	受託会社
0.42%	0.27%	0.12%	0.03%

表中の率は税抜です。別途消費税がかかります。

役務の内容	
委託会社	委託した資金の運用等
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続き等
受託会社	信託財産の管理、委託会社からの指図の実行等

投資顧問会社の報酬は、委託会社が当ファンドから受ける報酬から支払われますので、当ファンドの信託財産からの直接的な支払いは行われません。

支払時期

信託報酬（信託報酬に係る消費税等相当額を含みます。）は毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。なお、信託財産からは毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日のときは、その翌営業日を6ヵ月の終了日とします。）および毎計算期末または信託終了のときに支払われます。

（４）【その他の手数料等】

当ファンドの信託財産中から支弁される主な諸経費（消費税等相当額を含みます。）は以下の通りです。各諸経費は、原則として発生時に実費が信託財産中から支弁されます。

- 1) 信託財産に関する租税
- 2) 信託事務の処理に要する諸費用
- 3) 借入金及び受託会社の立替えた立替金の利息

4) 当ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料*

5) 先物取引・オプション取引等に要する費用

6) 外貨建資産の保管等に要する費用

*当ファンドによるマザーファンド受益証券の取得・換金時には、手数料及び信託財産留保額等の費用はかかりません。

上記の諸経費のほか、下記のその他諸費用（当ファンドに関連してマザーファンドにおいて発生した費用及び消費税等相当額を含みます。）について、計算期間を通じて日々の信託財産の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額を上限として、あらかじめ委託会社が費用額を合理的に見積もったうえで算出する固定金額または固定率により計算される金額が毎日計上され、基準価額に反映されます。なお、信託財産からは毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日のときは、その翌営業日を6ヵ月の終了日とします。）及び毎計算期末または信託終了のときに支弁されます。また、委託会社は、信託期間中であっても、信託財産の規模等を考慮して、上限額、固定率または固定金額及び計上方法等を見直し、これを変更することができます。

1) 監査報酬、法律顧問及び税務顧問に対する報酬及び費用

2) 有価証券届出書、有価証券報告書、信託約款、目論見書、運用報告書その他法令により必要とされる書類の作成、印刷、届出及び交付に係る費用

3) 公告費用

4) 格付費用

5) 計理業務（設定解約処理、約定処理、基準価額算出、決算処理等）及びこれに付随する業務（法定帳簿管理、法定報告に係る業務等）の委託等の費用

6) 受益権の管理事務に関連する費用

当ファンドが投資対象とするマザーファンドにおいては、上記の諸経費（借入金の利息を除きます。）がかかることがあり、間接的に当ファンドの受益者の負担となります。

上記及びのうち、主要な手数料等を対価とする役務の内容は以下の通りです。

1) 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料

2) 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用

3) 監査費用：監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用

4) 印刷等費用：印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用

上記に掲げる費用等については、運用状況等により変動するものであり、あらかじめこれを見積もることが困難であるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当ファンドのお申込時、保有期間中及びご換金時に受益者に直接または間接的にご負担いただく手数料及び費用等の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法については、受益者の皆さまが当ファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

（5）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人受益者の場合

1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）のいずれかを選択することもできます。

2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益（譲渡益）*については譲渡所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座（源泉徴収選択口座）を選択している場合は、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。

*解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みま

す。)を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損（譲渡損失）については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限ります。）と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益（譲渡益）、普通分配金および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限ります。）については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

法人受益者の場合

1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%（所得税のみ）の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

個別元本

1) 各受益者の買付時の基準価額（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）が個別元本になります。

2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

普通分配金と元本払戻金(特別分配金)

1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

2) 受益者が収益分配金を受け取る際

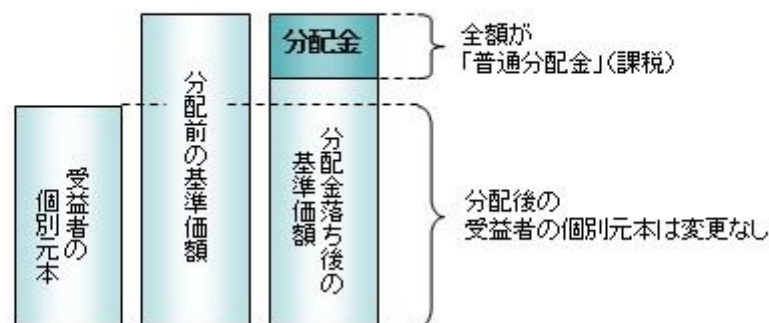
イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。

ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、収益分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した金額が普通分配金となります。

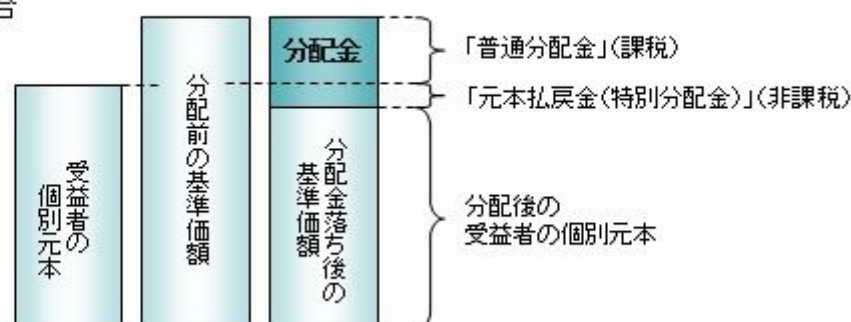
ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

<分配金に関するイメージ図>

イ) の場合



ロ)、ハ) の場合



外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記は2023年4月末現在のものですので、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

以下は、2023年4月28日現在の運用状況であります。

投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率です。また、小数点以下第3位を四捨五入しており、合計と合わない場合があります。

【ウェスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）】

（1）【投資状況】

資産の種類	国名/地域名	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	56,882,235	100.04
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		20,500	0.04
合計（純資産総額）		56,861,735	100.00

（2）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a. 上位30銘柄

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	ウェスタン・グローバル債券マ ザーファンド	45,498,509	1.2245	55,713,636	1.2502	56,882,235	100.04

b. 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

期間末	純資産総額（円）		基準価額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末（2019年10月9日）	231,555,018	231,555,018	10,471	10,471
第2計算期間末（2020年10月9日）	248,039,725	248,039,725	11,217	11,217
第3計算期間末（2021年10月11日）	331,950,295	331,950,295	12,048	12,048
第4計算期間末（2022年10月11日）	366,685,899	366,685,899	12,004	12,004
2022年4月末日	339,983,515		12,125	
5月末日	408,421,455		12,123	
6月末日	416,144,209		12,310	
7月末日	423,096,090		12,491	
8月末日	416,138,002		12,358	
9月末日	381,869,007		12,043	
10月末日	360,850,777		12,437	
11月末日	324,747,834		12,173	
12月末日	283,825,115		11,650	
2023年1月末日	284,708,912		11,894	
2月末日	266,302,743		11,976	
3月末日	266,398,227		12,143	
4月末日	56,861,735		12,218	

（注）基準価額は1万口当たりの純資産額です。

【分配の推移】

期	期間	1万口当たりの分配金（円）
第1計算期間	2018年10月10日～2019年10月9日	0
第2計算期間	2019年10月10日～2020年10月9日	0
第3計算期間	2020年10月10日～2021年10月11日	0
第4計算期間	2021年10月12日～2022年10月11日	0

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第1計算期間	2018年10月10日～2019年10月9日	4.71
第2計算期間	2019年10月10日～2020年10月9日	7.12
第3計算期間	2020年10月10日～2021年10月11日	7.41
第4計算期間	2021年10月12日～2022年10月11日	0.37
第5中間計算期間	2022年10月12日～2023年4月11日	1.87

（注）収益率は、計算期間末の基準価額（分配付きの額。）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ちの額。以下「前計算期間末基準価額」といいます。）を控除した額を前計算期間末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。

（４）【設定及び解約の実績】

期	設定口数（口）	解約口数（口）
第1計算期間	232,224,790	11,086,373
第2計算期間	66,743,084	66,747,388
第3計算期間	98,040,922	43,644,203
第4計算期間	86,503,690	56,569,014
第5中間計算期間	4,969,642	94,758,980

（注）当該各期間中において、本邦外における設定または解約の実績はありません。

（参考）

ウエスタン・グローバル債券マザーファンド

投資状況

資産の種類	国名/地域名	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	4,596,875,084	24.80
	カナダ	221,569,670	1.20
	メキシコ	546,349,477	2.95
	ブラジル	51,322,367	0.28
	コロンビア	48,045,135	0.26
	ドイツ	220,381,660	1.19
	イタリア	133,634,402	0.72
	フランス	198,227,169	1.07
	スペイン	274,614,539	1.48
	ベルギー	96,901,906	0.52
	イギリス	355,002,239	1.92
	ポーランド	224,491,519	1.21
	オーストラリア	7,253,145	0.04
	インドネシア	161,295,792	0.87
	中国	492,904,182	2.66
	南アフリカ	307,447,295	1.66
	アラブ首長国連邦	56,859,354	0.31
	小計	7,993,174,935	43.12
地方債証券	カナダ	90,151,764	0.49
特殊債券	アメリカ	3,035,671,231	16.38
社債券	アメリカ	3,029,091,377	16.34

	カナダ	257,921,014	1.39
	コロンビア	82,228,215	0.44
	ドイツ	117,576,118	0.63
	イタリア	153,077,102	0.83
	フランス	313,400,997	1.69
	オランダ	477,297,215	2.58
	スペイン	46,363,434	0.25
	オーストリア	88,330,897	0.48
	ルクセンブルク	69,560,369	0.38
	イギリス	608,720,506	3.28
	スイス	310,371,145	1.67
	デンマーク	134,650,089	0.73
	ケイマン諸島	81,659,618	0.44
	バミューダ	27,406,501	0.15
	中国	648,604,747	3.50
	ジャージー	75,401,418	0.41
	小計	6,521,660,762	35.18
投資証券	アメリカ	656,790,969	3.54
	アイルランド	33,366,173	0.18
	小計	690,157,142	3.72
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		204,651,090	1.10
合計(純資産総額)		18,535,466,924	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
債券先物取引	買建	アメリカ	6,257,812,074	33.76
	買建	カナダ	268,935,430	1.45
	買建	ドイツ	2,593,113,052	13.99
	買建	イギリス	591,293,167	3.19
	買建	オーストラリア	208,946,798	1.12
	売建	アメリカ	3,758,819,463	20.27
	売建	ドイツ	120,978,288	0.65
その他先物取引	買建	イギリス	5,305,107,956	28.62
	売建	アメリカ	4,357,025,268	23.50

(注)先物取引は、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

資産の種類	建別	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
直物為替先渡取引	買建		1,414,399,480	7.63
	売建		32,585,209	0.17

(注)直物為替先渡取引は、知りうる直近の日の価格情報提供会社の提供する価額等で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 上位30銘柄

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	11,250,000	11,786.67	1,326,000,797	12,196.39	1,372,094,893	0.375	2026/1/31	7.40
2	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	6,090,000	12,640.52	769,808,276	12,867.04	783,603,286	2.625	2027/5/31	4.23
3	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	5,000,000	12,885.38	644,269,352	13,152.07	657,603,765	0.250	2023/9/30	3.55
4	アメリカ	投資証券	WA CHINA BOND FUND L.L.C.	438,377.318	1,439.21	630,919,167	1,498.23	656,790,969			3.54
5	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	4,780,000	13,375.90	639,368,474	13,547.13	647,552,814	3.875	2027/11/30	3.49
6	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	4,400,000	11,848.49	521,333,972	12,252.98	539,131,346	0.750	2026/4/30	2.91
7	メキシコ	国債証券	MEXICAN BONOS DESARR FIX	60,710,000	612.21	371,674,459	648.05	393,432,053	7.750	2042/11/13	2.12
8	アメリカ	国債証券	US TREASURY NOTE	2,910,000	11,831.60	344,299,772	12,244.60	356,317,918	0.375	2025/12/31	1.92
9	中国	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	13,500,000	2,114.59	285,470,121	2,080.71	280,896,682	4.000	2035/11/30	1.52
10	中国	社債券	AGRICUL DEV BANK CHINA	14,000,000	1,958.91	274,248,342	1,955.88	273,823,252	3.400	2024/11/6	1.48
11	ポーランド	国債証券	POLAND GOVT	9,660,000	2,004.45	193,630,436	2,323.92	224,491,519	1.750	2032/4/25	1.21
12	南アフリカ	国債証券	SOUTH AFRICA GOVT	49,687,000	449.32	223,258,100	447.37	222,285,678	6.500	2041/2/28	1.20
13	スペイン	国債証券	SPANISH GOVT 2.7 10/31/4	1,600,000	12,312.27	196,996,354	11,841.57	189,465,229	2.700	2048/10/31	1.02
14	中国	社債券	CHINA DEVELOPMENT BANK	8,000,000	2,111.33	168,906,449	2,097.95	167,836,412	4.300	2032/8/2	0.91
15	フランス	社債券	CREDIT AGRICOLE FRN	1,200,000	13,646.91	163,763,023	13,789.54	165,474,515	1.875	2027/4/22	0.89
16	インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	15,485,000,000	0.98	152,534,948	1.04	161,295,792	8.375	2039/4/15	0.87
17	カナダ	国債証券	CANADIAN GOVT	1,280,000	11,766.69	150,613,698	12,215.67	156,360,607	5.750	2033/6/1	0.84
18	スイス	社債券	UBS GROUP FUNDING	1,040,000	14,364.46	149,390,436	14,123.69	146,886,478	1.500	2024/11/30	0.79
19	カナダ	社債券	TORONTO- DOMINION BANK	1,020,000	13,695.39	139,693,061	13,879.76	141,573,620	2.551	2027/8/3	0.76
20	アメリカ	特殊債券	FNMA 30YR MAY FWD	1,200,000	11,716.07	140,592,866	11,536.36	138,436,404	2.500	2052/5/1	0.75
21	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI	1,110,000	12,201.97	135,441,944	12,039.13	133,634,402	3.250	2046/9/1	0.72
22	オランダ	社債券	PETROBRAS GLOBAL FINANCE	970,000	13,547.73	131,413,012	13,473.15	130,689,556	6.250	2024/3/17	0.71
23	フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	1,080,000	11,962.01	129,189,769	11,971.04	129,287,335	0.000	2030/11/25	0.70
24	イギリス	国債証券	UK TREASURY	860,000	13,125.31	112,877,739	14,640.25	125,906,201	3.250	2044/1/22	0.68
25	イギリス	国債証券	UK TREASURY	690,000	16,558.77	114,255,538	18,133.94	125,124,219	4.750	2038/12/7	0.68
26	アメリカ	社債券	MCDONALD'S CORP	900,000	13,782.72	124,044,520	13,875.06	124,875,624	1.875	2027/5/26	0.67

27	イギリス	社債券	LLOYDS BANKING GROUP FRN	840,000	14,495.17	121,759,460	14,632.28	122,911,208	3.500	2026/4/1	0.66
28	アメリカ	特殊債券	UMBS 30YR MAY FWD	1,100,000	11,192.71	123,119,814	11,084.72	121,932,029	2.000	2052/5/1	0.66
29	ドイツ	国債証券	BUNDES REPUBLIC DE	860,000	14,125.37	121,478,220	13,927.03	119,772,528	1.700	2032/8/15	0.65
30	中国	社債券	EXPORT-IMPORT BANK CHINA	6,000,000	1,983.93	119,036,064	1,971.13	118,268,197	4.400	2024/5/14	0.64

(注1) 変動利付債券は2023年4月末現在の利率です。

(注2) 2023年4月末現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

b. 種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	43.12
地方債証券	0.49
特殊債券	16.38
社債券	35.18
投資証券	3.72
合計	98.90

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建/売建	数量	通貨	帳簿価額	帳簿価額(円)	評価額	評価額(円)	投資比率(%)
債券先物取引	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 5YR 2306	買建	66	米ドル	7,081,843.78	949,887,706	7,225,452.96	969,150,005	5.22
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 2YR 2306	買建	161	米ドル	32,797,739.87	4,399,160,849	33,176,062.5	4,449,905,263	24.00
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 10YR 2306	売建	219	米ドル	24,700,282.94	3,313,048,950	25,126,829.22	3,370,261,603	18.18
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 20YR 2306	買建	18	米ドル	2,275,038.96	305,150,976	2,347,312.5	314,845,026	1.69
	アメリカ	シカゴ商品取引所	USUL10YR2306	売建	24	米ドル	2,809,813.36	376,880,266	2,896,875.12	388,557,860	2.09
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US UL 2306	買建	28	米ドル	3,798,560.48	509,500,917	3,906,000	523,911,780	2.82
	カナダ	モントリオール取引所	CA 10YR 2306	買建	10	カナダドル	1,221,930.5	120,445,689	1,253,000	123,508,210	0.66
	カナダ	モントリオール取引所	CAN 5YR 2306	買建	13	カナダドル	1,456,799.65	143,596,741	1,475,370	145,427,220	0.78
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BTP10YR 2306	買建	8	ユーロ	887,049.6	131,318,822	907,680	134,372,947	0.72
ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	OAT10YR 2306	買建	21	ユーロ	2,639,955.2	390,818,968	2,699,340	399,610,294	2.15	

ドイツ	ユーレックス・ドイツ 金融先物取引所	EB 5YR 2306	買建	42	ユーロ	4,838,870.4	716,346,374	4,923,240	728,836,450	3.93	
ドイツ	ユーレックス・ドイツ 金融先物取引所	EB 10YR 2306	買建	67	ユーロ	8,772,700.4	1,298,710,567	8,986,040	1,330,293,361	7.17	
ドイツ	ユーレックス・ドイツ 金融先物取引所	EB 30YR 2306	売建	6	ユーロ	798,512.8	118,211,835	817,200	120,978,288	0.65	
オーストラリア	シドニー先物取引所	AU 10YR 2306	買建	13	オーストラリアドル	1,546,152.01	137,576,606	1,588,214.42	141,319,319	0.76	
オーストラリア	シドニー先物取引所	AU 3YR 2306	買建	7	オーストラリアドル	750,522.36	66,781,479	760,030.11	67,627,479	0.36	
イギリス	ロンドン国際金融先物オプション取引所	UK 10YR 2306	買建	35	英ポンド	3,515,898.3	589,440,350	3,526,950	591,293,167	3.19	
その他先物取引	アメリカ	シカゴ商業取引所	3M SOFR 2312	売建	136	米ドル	32,643,276.9	4,378,442,731	32,483,600	4,357,025,268	23.50
	イギリス	ICEフューチャーズ・ヨーロッパ	ICE3SON12312	買建	66	英ポンド	15,698,916.08	2,631,923,281	15,703,875	2,632,754,644	14.20
	イギリス	ICEフューチャーズ・ヨーロッパ	3M EURL 2312	買建	75	ユーロ	18,161,452.5	2,688,621,428	18,051,562.5	2,672,353,312	14.41

(注1) 先物取引は、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

(注2) 評価額は、2023年4月末現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

資産の種類	買建/ 売建	通貨	数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
直物為替先渡取引	買建	インドネシアルピア/米ドル	602,737.02	80,845,116	84,202,084	0.45
		韓国ウォン/米ドル	1,362,980.93	182,816,632	179,879,320	0.97
		中国元/米ドル	8,585,313.46	1,151,548,094	1,150,318,075	6.20
	売建	インドルピー/米ドル	238,818.51	32,032,726	32,585,209	0.17

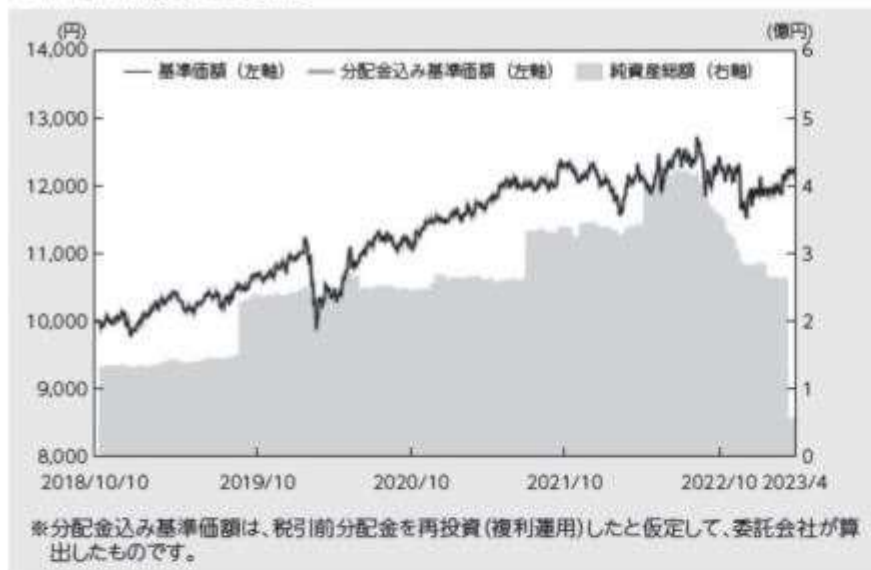
(注1) 直物為替先渡取引は、知りうる直近の日の価格情報提供会社の提供する価額等で評価しています。

(注2) 評価額は、2023年4月末現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

参考情報

運用実績

基準価額・純資産の推移



基準価額・純資産総額

基準価額	純資産総額
12,218円	0.6億円

分配の推移

2019年10月	0円
2020年10月	0円
2021年10月	0円
2022年10月	0円
設定来累計	0円

※1万円当たり、税引前

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況(ウェスタン・グローバル債券マザーファンド)

■種類別組入比率 ■通貨別構成 ■組入上位銘柄

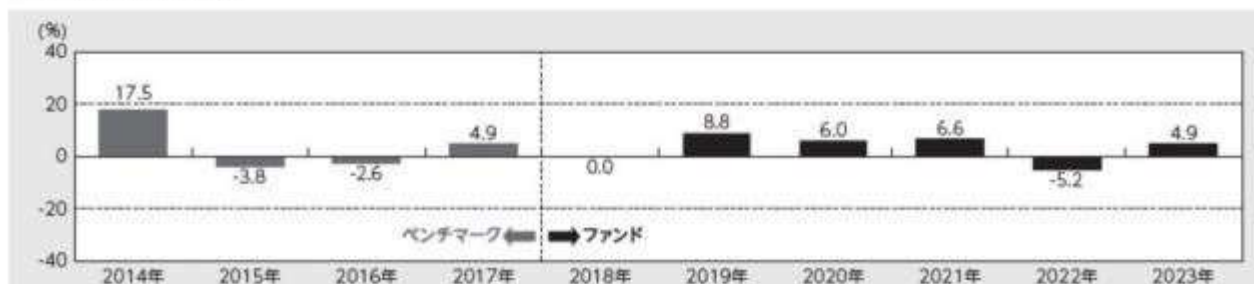
種類	比率(%)	通貨	比率(%)	銘柄	国	種類	利率(%)	償還日	比率(%)
国債証券	43.12	米ドル	45.84	US TREASURY NOTE	アメリカ	国債証券	0.375	2026年1月31日	7.40
地方債証券	0.49	ユーロ	20.91	US TREASURY NOTE	アメリカ	国債証券	2.625	2027年5月31日	4.23
特殊債券	16.38	中国元	9.74	US TREASURY NOTE	アメリカ	国債証券	0.250	2023年9月30日	3.55
社債券	35.18	カナダドル	3.97	WA CHINA BOND FUND LLC	アメリカ	投資証券	—	—	3.54
投資証券	3.72	英ポンド	3.11	US TREASURY NOTE	アメリカ	国債証券	3.875	2027年11月30日	3.49
現金・預金・その他の資産	1.10	その他	16.42	US TREASURY NOTE	アメリカ	国債証券	0.750	2026年4月30日	2.91
合計	100.00	合計	100.00	MEXICAN BONOS DESARR FIX	メキシコ	国債証券	7.750	2042年11月13日	2.12
				US TREASURY NOTE	アメリカ	国債証券	0.375	2025年12月31日	1.92
				CHINA GOVERNMENT BOND	中国	国債証券	4.000	2035年11月30日	1.52
				AGRICUL DEV BANK CHINA	中国	社債券	3.400	2024年11月6日	1.48

※外国債券TBA銘柄の売建残高(売付債券)は「特殊債券」に含まれません。また、「現金・預金・その他の資産」には負債としての売付債券を控除した値を記載しております。

※上記比率はマザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。また、小数点以下第3位を四捨五入しており、合計と合わない場合があります。

※当ファンドにおけるマザーファンド受益証券の組入比率は100.04%です。

年間収益率の推移



※年間収益率は、税引前分配金を再投資(複利運用)したと仮定して、委託会社が暦年ベースで算出したものです。

※2018年はファンドの設定日(2018年10月10日)から年末までの収益率、2023年は年初から基準日までの収益率を表示しています。

※2017年以前はベンチマークの年間収益率を表示しております。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

ファンドの運用状況は、委託会社のホームページで確認することができます。

第2【管理及び運営】

1【申込(販売)手続等】

(1) 申込方法

販売会社所定の方法でお申し込みください。

当ファンドは、SMA(セパレトリー・マネージド・アカウント)にかかる契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。取得申込者は、販売会社にSMA取引口座を開設した者等に限るものとします。

当該契約については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約を使用することがあります。

(2) コースの選択

収益分配金の受取方法によって、＜分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）＞と＜分配金受取りコース（一般コース）＞の2通りがあります。ただし、販売会社によって取扱コースは異なります。

＜分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）＞

収益分配金を自動的に再投資するコースです。

＜分配金受取りコース（一般コース）＞

収益分配金を再投資せず、その都度受け取るコースです。

販売会社によっては、取扱コースの名称が異なる場合があります。

(3) 申込みの受付

販売会社の営業日に受け付けます。

(4) 取扱時間

原則として、午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。なお、上記時刻を過ぎた場合は、翌営業日の取扱いとなります。

(5) 取得申込不可日

販売会社の営業日であっても、取得申込日が下記のいずれかに該当する場合は、取得の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- ・ロンドンの銀行休業日
- ・ニューヨークの銀行休業日

(6) 申込金額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に取得申込口数を乗じて得た額に、申込手数料と当該手数料に係る消費税等相当額を加算した額です。

＜分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）＞において収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。

(7) 申込単位

販売会社が定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

(8) 申込代金の支払い

取得申込者は、申込金額を販売会社が指定する日までに販売会社へお支払いください。

(9) 受付の中止および取消

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得の申込みの受付を中止すること、および既に受け付けた取得の申込みの受付を取り消すことができます。

金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいいます。

2【換金（解約）手続等】

<解約請求による換金>

(1) 解約の受付

販売会社の営業日に受け付けます。

(2) 取扱時間

原則として、午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。なお、上記時刻を過ぎた場合は、翌営業日の取扱いとなります。

(3) 解約請求不可日

販売会社の営業日であっても、解約請求日が下記のいずれかに該当する場合は、解約請求の受付は行な

いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- ・ロンドンの銀行休業日
- ・ニューヨークの銀行休業日

(4) 解約制限

資金管理を円滑に行うため、信託財産の残高規模、市場の流動性の状況等によっては、換金制限を設ける場合があります。

(5) 解約価額

解約請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

- ・基準価額につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

< 委託会社の照会先 >

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<https://www.franklintempleton.co.jp>

電話番号：03-5219-5940

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

(6) 手取額

1口当たりの手取額は、解約価額から解約に係る所定の税金を差し引いた金額となります。
税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。
詳しくは、「課税上の取扱い」をご覧ください。

(7) 解約単位

販売会社が定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

(8) 解約代金の支払い

原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

(9) 受付の中止および取消

- ・委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止すること、および既に受け付けた解約請求の受付を取り消すことができます。
- ・解約請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日（この計算日が解約請求を受け付けない日であるときは、この計算日以降の最初の解約請求を受け付けることができる日とします。）に解約請求を受け付けたものとして取り扱います。

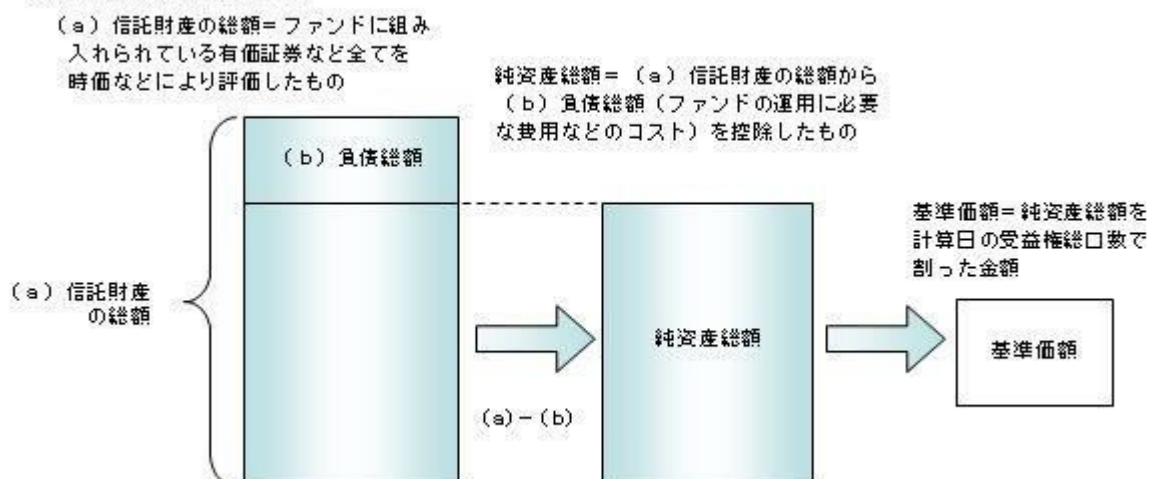
3 【資産管理等の概要】

(1) 【資産の評価】

基準価額の算出

- ・基準価額は委託会社の営業日において日々算出されます。
- ・基準価額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を評価して得た信託財産の総額から負債総額を控除した金額（純資産総額）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。なお、ファンドは1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

<基準価額算出の流れ>



有価証券などの評価基準

- 信託財産に属する資産については、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価します。

<主な資産の評価方法>

マザーファンド受益証券

基準価額計算日の基準価額で評価します。

外国公社債

原則として、基準価額計算日に知りうる直近の日における以下のいずれかの価額で評価します。

- 日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）
 - 金融商品取引業者（第一種金融商品取引業者および外国の法令に準拠して設立された法人でこの者に類する者をいいます。）、銀行などの提示する価額（売気配相場を除きます。）
 - 価格情報会社の提供する価額
- 残存期間1年以内の公社債などについては、一部償却原価法により評価することができます。

為替予約取引

原則として、基準価額計算日のわが国における対顧客先物相場の仲値で評価します。

有価証券先物取引等（外国）

原則として、基準価額計算日に知りうる直近の日における外国金融商品市場の発表する清算値段または最終相場で評価します。

- 外貨建資産（外国通貨表示の有価証券、預金その他の資産をいいます。）の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客相場の仲値によって計算します。

基準価額の照会方法

販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

<委託会社の照会先>

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<https://www.franklintempleton.co.jp>

電話番号：03-5219-5940

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

2028年10月10日までとします（2018年10月10日設定）。ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

（４）【計算期間】

毎年10月10日から翌年10月9日までとします。ただし、各計算期間の末日が休業日のときはその翌営業日を計算期間の末日とし、その翌日より次の計算期間が開始されます。

（５）【その他】

信託の終了（繰上償還）

1) 委託会社は、次のいずれかの場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し繰上償還させることができます。

イ) 信託財産の純資産総額が20億円を下回ったとき

ロ) マザーファンドを投資対象とするすべての証券投資信託の信託財産の純資産総額の合計額が30億円を下回ったとき

ハ) 繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき

ニ) やむを得ない事情が発生したとき

2) この場合、委託会社は書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行ないます。（後述の「書面決議」をご覧ください。）

3) 委託会社は、次のいずれかの場合には、後述の「書面決議」の規定は適用せず、信託契約を解約し繰上償還させます。

イ) 信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合で、書面決議が困難な場合

ロ) 監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたとき

ハ) 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したとき（監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、書面決議で可決された場合、存続します。）

ニ) 受託会社が委託会社の承諾を受けてその任務を辞任した場合またはその任務に違反するなどして解任された場合に、委託会社が新受託会社を選任できないとき

4) 繰上償還を行なう際には、委託会社は、その旨をあらかじめ監督官庁に届け出ます。

償還金について

・ 償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日まで）から受益者に支払います。

・ 償還金の支払いは、販売会社において行なわれます。

信託約款の変更など

1) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、この信託約款を変更すること、または当ファンドと他のファンドとの併合（以下「併合」といいます。）を行なうことができます。信託約款の変更または併合を行なう際には、委託会社は、その旨および内容をあらかじめ監督官庁に届け出ます。

2) この変更事項のうち、その内容が重大なものまたは併合（受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものを除きます。）については、書面決議を行ないます。（後述の「書面決議」をご覧ください。）

3) 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、後述の「書面決議」の規定を適用します。

書面決議

1) 繰上償還、信託約款の重大な変更または併合に対して、委託会社は書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびにその内容および理由などの事項を定め、決議の日の2週間前までに知っている受益者に対し書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。

2) 受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。

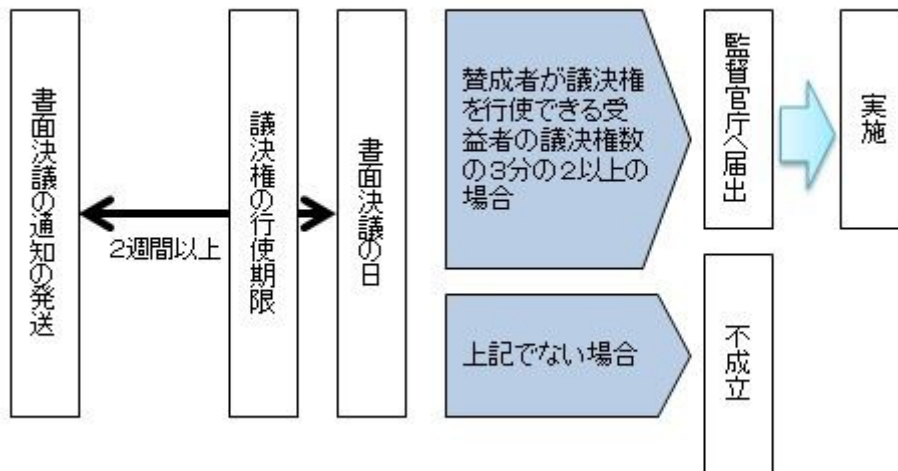
3) 書面決議は、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。

4) 繰上償還、信託約款の重大な変更または併合に関する委託会社の提案に対して、すべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、書面決議を行ないません。

5) 当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合であっても、併合にかかる他のファンドにおいて併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。

- 6) 当ファンドは、受益者からの換金請求に対して、投資信託契約の一部を解約することにより応じることができると、受益者の保護に欠けるおそれがないものとして、書面決議において反対した受益者からの買取請求は受け付けません。

<書面決議の主な流れ>



公告

公告は日本経済新聞に掲載します。

運用報告書の作成

- ・委託会社は、毎期決算後および償還後に期中の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成します。
- ・交付運用報告書は、原則として知れている受益者に対して交付されます。
- ・運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページに掲載されます。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付請求があった場合には、交付します。

ホームページアドレス：<https://www.franklintempleton.co.jp>

関係法人との契約について

- ・販売会社との募集の取扱いなどに関する契約の有効期間は契約日より1年間とします。ただし、期間満了の3ヵ月前までに、販売会社、委託会社いずれからも別段の意思表示がないときは、自動的に1年間延長されるものとし、以後も同様とします。
- ・投資顧問会社とのマザーファンドにおける運用の指図に関する権限の委託契約は、当該ファンドの信託期間終了まで存続します。ただし、投資顧問会社、委託会社が重大な契約違反を行なったとき、その他契約を継続し難い重大な事由があるときは、相手方に通知をなすことにより契約を終了することができます。

他の受益者の氏名などの開示の請求の制限

受益者は、委託会社または受託会社に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行なうことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

(1) 収益分配金・償還金受領権

- ・受益者は、ファンドの収益分配金・償還金を、自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。
- ・ただし、受益者が収益分配金については支払開始日から5年間、償還金については支払開始日から10年間請求を行なわない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

(2) 解約請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき販売会社を通じて、委託会社に解約の請求をすることができます。

(3) 帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧を請求する

ことができます。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第4期計算期間(2021年10月12日から2022年10月11日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。
- (3) 2022年7月12日に、ファンドの名称を「LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド(SMA専用)」から「ウエスタン・グローバル債券ファンド(SMA専用)」に変更いたしました。

1【財務諸表】

【ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第3期 2021年10月11日現在	第4期 2022年10月11日現在
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	332,702,685	367,714,007
未収入金	-	3,879,714
流動資産合計	332,702,685	371,593,721
資産合計	332,702,685	371,593,721
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	3,879,714
未払受託者報酬	48,524	66,312
未払委託者報酬	630,746	861,977
その他未払費用	73,120	99,819
流動負債合計	752,390	4,907,822
負債合計	752,390	4,907,822
純資産の部		
元本等		
元本	275,530,832	305,465,508
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	56,419,463	61,220,391
（分配準備積立金）	33,645,262	36,065,802
元本等合計	331,950,295	366,685,899
純資産合計	331,950,295	366,685,899
負債純資産合計	332,702,685	371,593,721

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第3期		第4期	
	自	2020年10月10日	自	2021年10月12日
	至	2021年10月11日	至	2022年10月11日
営業収益				
有価証券売買等損益		20,116,916		1,066,585
営業収益合計		20,116,916		1,066,585
営業費用				
受託者報酬		90,967		121,933
委託者報酬		1,182,538		1,584,998
その他費用		137,112		183,818
営業費用合計		1,410,617		1,890,749
営業利益又は営業損失()		18,706,299		824,164
経常利益又は経常損失()		18,706,299		824,164
当期純利益又は当期純損失()		18,706,299		824,164
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()		1,715,577		1,231,885
期首剰余金又は期首欠損金()		26,905,612		56,419,463
剰余金増加額又は欠損金減少額		18,053,680		18,531,512
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		18,053,680		18,531,512
剰余金減少額又は欠損金増加額		5,530,551		11,674,535
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		5,530,551		11,674,535
分配金		-		-
期末剰余金又は期末欠損金()		56,419,463		61,220,391

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第4期
	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	計算期間末日の取扱い 2021年10月 9日及びその翌日が休日のため、前計算期間末日は2021年10月11日としております。また、2022年10月 9日及びその翌日が休日のため、当計算期間末日は2022年10月11日としております。このため、当計算期間は365日となっております。

(未適用の会計基準等に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

第3期 2021年10月11日現在	第4期 2022年10月11日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 275,530,832口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 305,465,508口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 一口当たり純資産額 1.2048円 (一万口当たり純資産額) (12,048円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 一口当たり純資産額 1.2004円 (一万口当たり純資産額) (12,004円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第3期	第4期
	自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日

1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	2020年10月10日から2021年3月31日まで 委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。 2021年4月1日以降 委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。	委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。
2. 分配金の計算過程		
費用控除後の配当等収益額	7,562,269円	8,100,017円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	9,428,453円	- 円
収益調整金額	22,774,201円	25,154,589円
分配準備積立金額	16,654,540円	27,965,785円
当ファンドの分配対象収益額	56,419,463円	61,220,391円
当ファンドの期末残存口数	275,530,832口	305,465,508口
1万口当たり収益分配対象額	2,047.63円	2,004.14円
1万口当たり分配金額	- 円	- 円
収益分配金金額	- 円	- 円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第3期	第4期
	自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は（その他の注記）の2 有価証券関係に記載しております。これらは、金利変動リスク、投資証券の価格変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスク及び流動性リスクに晒されております。	同左

3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では、運用リスク管理に関する委員会において、以下の事項について審議を行い、運用本部に必要な勧告または是正を命じます。 1. パフォーマンス評価 2. リスク分析 3. 運用ガイドラインチェック 4. その他運用リスクに関する事項に関する報告や承認等	同左
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第3期 自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	第4期 自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

1 元本の移動

項目	第3期	第4期
	自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
期首元本額	221,134,113円	275,530,832円
期中追加設定元本額	98,040,922円	86,503,690円
期中解約元本額	43,644,203円	56,569,014円

2 有価証券関係 売買目的有価証券

種類	第3期	第4期
	2021年10月11日現在	2022年10月11日現在
	当期の損益に含まれた評価差額（円）	
親投資信託受益証券	18,498,595	120,081
合計	18,498,595	120,081

3 デリバティブ取引関係 取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表 株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	総口数（口）	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	日本円	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	300,199,206	367,714,007	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：100.3%	300,199,206	367,714,007 100.0%	
合計				367,714,007	

(注)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況は次の通りであります。

「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

ウエスタン・グローバル債券マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	2021年10月11日現在	2022年10月11日現在
資産の部		
流動資産		
預金	171,168,981	237,848,509
コール・ローン	1,202,345,291	345,307,835
国債証券	8,191,498,224	6,680,819,555
地方債証券	139,876,854	104,112,063
特殊債券	2,039,664,497	1,787,836,617
社債券	6,843,009,396	7,084,365,576
投資証券	589,096,978	856,789,168
コール・オプション（買）	-	3,604,648
派生商品評価勘定	249,819,244	518,870,851
未収入金	654,987,208	9,963,134,214
未収利息	150,470,350	216,087,437
前払費用	5,786,437	10,110,986
差入委託証拠金	102,626,114	923,284,577
流動資産合計	20,340,349,574	28,732,172,036
資産合計	20,340,349,574	28,732,172,036
負債の部		
流動負債		
売付債券	91,757,780	88,337,882
プット・オプション（売）	2,145,000	45,102,390
派生商品評価勘定	176,656,442	1,169,080,873
未払金	932,921,597	434,145,252
未払解約金	129,999	9,029,078,324
未払利息	3,588	917
流動負債合計	1,203,614,406	10,765,745,638
負債合計	1,203,614,406	10,765,745,638
純資産の部		
元本等		
元本	15,647,908,492	14,668,148,408
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,488,826,676	3,298,277,990
元本等合計	19,136,735,168	17,966,426,398
純資産合計	19,136,735,168	17,966,426,398
負債純資産合計	20,340,349,574	28,732,172,036

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券・地方債証券・特殊債券・社債券・売付債券</p> <p>移動平均法（買付約定後、最初の利払日までは個別法）に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。</p> <p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、投資証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>先物取引・オプション取引</p> <p>個別法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。</p> <p>為替予約取引</p> <p>為替予約の評価は、原則として、わが国における貸借対照表作成日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>直物為替先渡取引</p> <p>原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

(未適用の会計基準等に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

2021年10月11日現在	2022年10月11日現在
1. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの受益権の総数 15,647,908,492口	1. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの受益権の総数 14,668,148,408口
2. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの 一口当たり純資産額 1.2230円 (一万口当たり純資産額) (12,230円)	2. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの 一口当たり純資産額 1.2249円 (一万口当たり純資産額) (12,249円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は（その他の注記）の2 有価証券関係に記載しております。これらは、金利変動リスク、投資証券の価格変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスク及び流動性リスクに晒されております。 また、当ファンドは、信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、債券先物取引、債券先物オプション取引、為替予約取引及び直物為替先渡取引を行っております。債券先物取引、債券先物オプション取引は金利変動リスク、為替予約取引、直物為替先渡取引は為替変動リスクを有しております。	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は（その他の注記）の2 有価証券関係に記載しております。これらは、金利変動リスク、投資証券の価格変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスク及び流動性リスクに晒されております。 また、当ファンドは、信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、債券先物取引、債券先物オプション取引、金利先物取引、金利先物オプション取引、為替予約取引及び直物為替先渡取引を行っております。債券先物取引、債券先物オプション取引、金利先物取引及び金利先物オプション取引は金利変動リスク、為替予約取引、直物為替先渡取引は為替変動リスクを有しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では、運用リスク管理に関する委員会において、以下の事項について審議を行い、運用本部に必要な勧告または是正を命じます。 1. パフォーマンス評価 2. リスク分析 3. 運用ガイドラインチェック 4. その他運用リスクに関する事項に関する報告や承認等	同左

4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左
----------------------------	---	----

金融商品の時価等に関する事項

項目	自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券、投資証券、売付債券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 派生商品評価勘定、プット・オプション(売) デリバティブ取引については、（その他の注記）の3 デリバティブ取引関係に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券、投資証券、売付債券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 派生商品評価勘定、コール・オプション(買)、プット・オプション(売) デリバティブ取引については、（その他の注記）の3 デリバティブ取引関係に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

1 元本の移動等

項目	自 2020年10月10日 至 2021年10月11日	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日
開示対象ファンドの期首における当該ファンドの元本額	15,678,448,540円	15,647,908,492円
同期中における追加設定元本額	2,143,833,077円	8,108,322,469円
同期中における解約元本額	2,174,373,125円	9,088,082,553円
元本の内訳 ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）	272,038,173円	300,199,206円

ウエスタン・グローバル債券ファンド（適格機関投資家専用）	15,375,870,319円	14,367,949,202円
計	15,647,908,492円	14,668,148,408円

2 有価証券関係 売買目的有価証券

種類	2021年10月11日現在	2022年10月11日現在
	当期の損益に含まれた評価差額（円）	当期の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	270,981,814	1,146,148,790
地方債証券	19,917,391	25,228,333
特殊債券	7,187,466	226,947,255
社債券	43,205,175	1,093,962,530
売付債券	39,135	2,164,788
投資証券	62,207,309	37,279,469
合計	279,045,402	2,527,401,589

3 デリバティブ取引関係 取引の時価等に関する事項 債券関連

種類	2021年10月11日現在				2022年10月11日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
	うち1年超				うち1年超			
市場取引								
債券先物取引								
買建	5,640,465,286	-	5,560,499,111	79,966,175	8,347,976,260	-	7,979,384,624	368,591,636
売建	9,083,568,359	-	8,904,768,247	178,800,112	3,546,078,094	-	3,356,864,041	189,214,053
債券先物オプション取引								
買建								
コール	-	-	-	-	523,230,240	-	3,537,331	1,441,462
					(4,978,793)			
売建								
プット	546,000,000	-	2,145,000	217,100	501,121,920	-	10,501,452	2,417,913
	(1,927,900)				(8,083,539)			

合計	15,270,033,645	-	14,467,412,358	98,616,837	12,918,406,514	-	11,350,287,448	183,236,958
----	----------------	---	----------------	------------	----------------	---	----------------	-------------

(注) 時価の算定方法

A 外国先物取引について

- 1) 外国先物取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

B 外国オプション取引について

- 1) 外国オプション取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
- 3) 契約額等のうち、()内はオプション料であります。

通貨関連

種類	2021年10月11日現在				2022年10月11日現在			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち1年超				うち1年超		
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
買建	4,796,768,809	-	4,844,460,317	47,691,508	19,029,820,607	-	19,312,399,849	282,579,242
米ドル	883,875,647	-	905,310,327	21,434,680	12,723,837,651	-	12,874,892,425	151,054,774
カナダドル	272,759,716	-	278,125,900	5,366,184	1,133,705,261	-	1,156,430,668	22,725,407
メキシコペソ	-	-	-	-	243,139,200	-	252,204,692	9,065,492
ユーロ	1,722,355,637	-	1,725,042,548	2,686,911	2,251,073,615	-	2,313,854,667	62,781,052
英ポンド	247,770,995	-	247,990,103	219,108	474,219,899	-	475,840,165	1,620,266
スイスフラン	100,863,193	-	101,768,940	905,747	148,444,380	-	157,568,868	9,124,488
スウェーデンクローナ	188,244,605	-	190,565,500	2,320,895	224,635,480	-	225,292,728	657,248
ノルウェークローネ	274,709,435	-	290,595,630	15,886,195	238,223,914	-	242,840,935	4,617,021
デンマーククローネ	40,134,540	-	40,204,000	69,460	59,027,864	-	62,416,104	3,388,240
ハンガリーフォリント	440,537,013	-	434,502,011	6,035,002	13,751,747	-	13,764,378	12,631
ポーランドズロチ	208,020,641	-	207,438,853	581,788	143,650,735	-	145,112,273	1,461,538
オーストラリアドル	279,935,802	-	284,316,664	4,380,862	329,126,012	-	334,918,060	5,792,048
ニュージーランドドル	15,549,240	-	15,582,060	32,820	44,946,110	-	44,617,595	328,515

シンガポールドル	41,494,314	-	42,327,042	832,728	60,281,344	-	64,755,200	4,473,856
タイバーツ	63,353,400	-	63,736,200	382,800	80,077,787	-	84,391,500	4,313,713
南アフリカランド	17,164,631	-	16,954,539	210,092	157,239,262	-	157,661,519	422,257
中国オフショア人民元	-	-	-	-	704,440,346	-	705,838,072	1,397,726
売建	3,538,908,225	-	3,593,745,416	54,837,191	28,458,002,693	-	28,912,069,534	454,066,841
米ドル	1,579,292,813	-	1,606,098,528	26,805,715	19,780,435,397	-	20,136,840,206	356,404,809
カナダドル	-	-	-	-	783,461,517	-	790,279,921	6,818,404
メキシコペソ	63,603,115	-	62,870,823	732,292	427,328,389	-	432,697,402	5,369,013
ユーロ	24,506,838	-	24,707,543	200,705	3,108,292,598	-	3,099,527,963	8,764,635
英ポンド	-	-	-	-	949,257,585	-	957,196,203	7,938,618
スイスフラン	-	-	-	-	58,557,000	-	58,358,840	198,160
スウェーデンクローナ	103,507,665	-	104,974,870	1,467,205	149,255,566	-	149,626,987	371,421
ノルウェークローネ	75,831,983	-	77,394,600	1,562,617	260,342,175	-	263,546,277	3,204,102
デンマーククローネ	-	-	-	-	23,547,096	-	23,406,039	141,057
ハンガリーフォリント	215,212,785	-	208,194,289	7,018,496	-	-	-	-
ポーランドズロチ	-	-	-	-	423,061,645	-	420,106,481	2,955,164
オーストラリアドル	187,442,110	-	193,142,035	5,699,925	144,991,716	-	142,933,908	2,057,808
ニュージーランドドル	-	-	-	-	14,738,688	-	14,602,122	136,566
シンガポールドル	-	-	-	-	21,241,857	-	21,247,800	5,943
タイバーツ	-	-	-	-	27,210,332	-	26,784,300	426,032
中国元	-	-	-	-	157,098,068	-	157,183,091	85,023
南アフリカランド	353,516,688	-	356,104,441	2,587,753	282,681,008	-	282,279,676	401,332
中国オフショア人民元	935,994,228	-	960,258,287	24,264,059	1,846,502,056	-	1,935,452,318	88,950,262
合計	8,335,677,034	-	8,438,205,733	7,145,683	47,487,823,300	-	48,224,469,383	171,487,599

(注) 時価の算定方法

為替予約取引について

1. 貸借対照表作成日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

貸借対照表作成日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

貸借対照表作成日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・貸借対照表作成日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 - ・貸借対照表作成日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
2. 貸借対照表作成日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、貸借対照表作成日の対顧客相場の仲値で評価しております。

通貨関連

種類	2021年10月11日現在				2022年10月11日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
		うち1年超				うち1年超		
市場取引以外の取引								
直物為替先渡取引								
買建	1,436,401,171	-	1,427,733,534	8,667,637	2,403,757,747	-	2,326,333,912	77,423,835
ルーブル	38,264,204	-	38,978,548	714,344	-	-	-	-
インドネシアルピア	84,531,026	-	84,851,181	320,155	148,637,392	-	144,424,386	4,213,006
韓国ウォン	420,616,325	-	406,876,382	13,739,943	354,776,642	-	333,551,670	21,224,972
中国元	892,989,616	-	897,027,423	4,037,807	1,900,343,713	-	1,848,357,856	51,985,857
売建	172,187,886	-	168,708,165	3,479,721	1,059,644,769	-	1,050,233,204	9,411,565
インドネシアルピア	-	-	-	-	36,342,068	-	36,092,490	249,578
韓国ウォン	-	-	-	-	128,115,068	-	126,314,531	1,800,537
新台幣ドル	172,187,886	-	168,708,165	3,479,721	-	-	-	-
中国元	-	-	-	-	895,187,633	-	887,826,183	7,361,450
合計	1,608,589,057	-	1,596,441,699	5,187,916	3,463,402,516	-	3,376,567,116	68,012,270

(注) 時価の算定方法

直物為替先渡取引について

1. 価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 直物為替先渡取引の残高は、契約額ベースで表記しております。

金利関連

種類	2021年10月11日現在			2022年10月11日現在				
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
		うち1年超				うち1年超		

市場取引									
金利先物取引									
買建	4,583,413,347	2,672,713,328	4,571,465,523	11,947,824	8,438,000,653	2,797,761,787	8,206,668,083	231,332,570	
売建	2,408,955,723	-	2,410,345,435	1,389,712	-	-	-	-	
金利先物オプション取引									
買建									
コール	-	-	-	-	2,682,582,450	-	67,317	2,950,072	
					(3,017,389)				
売建									
プット	-	-	-	-	2,665,753,200	-	34,600,938	30,682,904	
					(3,918,034)				
合計	6,992,369,070	2,672,713,328	6,981,810,958	13,337,536	13,786,336,303	2,797,761,787	8,241,336,338	264,965,546	

(注) 時価の算定方法

A 外国先物取引について

- 1) 外国先物取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

B 外国オプション取引について

- 1) 外国オプション取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
- 3) 契約額等のうち、()内はオプション料であります。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

附属明細表

第1 有価証券明細表
株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

次表の通りです。

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	米ドル	ABU DHABI GOVT	680,000.00	404,250.50	
		COLOMBIA GOVT	260,000.00	170,109.55	

	FED REPUBLIC OF BRAZIL	490,000.00	358,852.25	
	REPUBLIC OF COLOMBIA	260,000.00	157,346.13	
	REPUBLIC OF INDONESIA	640,000.00	494,772.22	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	710,000.00	598,034.68	
	UNITED MEXICAN STATES	1,140,000.00	846,776.84	
	US TREASURY BOND	870,000.00	948,435.93	
	US TREASURY NOTE	1,890,000.00	1,693,469.54	
	US TREASURY NOTE	4,500,000.00	3,969,843.75	
	US TREASURY NOTE	11,250,000.00	9,885,937.50	
	US TREASURY NOTE	4,400,000.00	3,886,781.27	
	US TREASURY NOTE	1,040,000.00	968,093.75	
	US TREASURY NOTE	1,020,000.00	630,487.50	
	US TREASURY NOTE	270,000.00	190,982.81	
	US TREASURY NOTE	180,000.00	145,068.75	
	US TREASURY NOTE	200,000.00	113,812.50	
小計	銘柄数：17	29,800,000.00	25,463,055.47	
			(3,711,749,595)	
	組入時価比率：20.7%		22.5%	
カナダドル	CANADIAN GOVT	990,000.00	846,453.95	
小計	銘柄数：1	990,000.00	846,453.95	
			(89,588,686)	
	組入時価比率：0.5%		0.5%	
メキシコペソ	MEXICAN BONOS DESARR FIX	67,770,000.00	55,772,363.80	
小計	銘柄数：1	67,770,000.00	55,772,363.80	
			(407,606,743)	
	組入時価比率：2.3%		2.5%	
ユーロ	BELGIUM GOVT	710,000.00	758,780.89	
	BUNDES REPUBLIC DE	460,000.00	382,795.59	
	BUONI POLIENNALI	1,110,000.00	908,594.81	
	FRANCE (GOVT OF)	1,080,000.00	872,667.99	
	FRANCE O.A.T.	360,000.00	250,707.80	
	FRANCE O.A.T.	90,000.00	105,144.10	
	REPUBLIC OF INDONESIA	400,000.00	295,747.76	
	SPAIN GOVT	540,000.00	654,627.11	
	SPANISH GOVT 2.7 10/31/4	1,470,000.00	1,210,671.95	
	UNITED MEXICAN STATES	590,000.00	402,911.73	

小計	銘柄数：10 組入時価比率：4.6%	6,810,000.00	5,842,649.73 (828,020,319) 5.0%
英債券	UK TREASURY	70,000.00	69,539.17
	UK TREASURY	690,000.00	681,512.31
	UK TREASURY	1,080,000.00	845,602.23
	UK TREASURY	280,000.00	178,088.48
	UK TREASURY INFL	210,000.00	201,025.88
小計	銘柄数：5 組入時価比率：1.8%	2,330,000.00	1,975,768.07 (319,343,393) 1.9%
ノルウェークローネ	NORWEGIAN GOVERNMENT	6,360,000.00	5,443,585.05
	NORWEGIAN GOVERNMENT	5,960,000.00	5,290,358.77
小計	銘柄数：2 組入時価比率：0.8%	12,320,000.00	10,733,943.82 (146,840,351) 0.9%
ポーランドズロチ	POLAND GOVT	10,800,000.00	6,686,089.13
小計	銘柄数：1 組入時価比率：1.1%	10,800,000.00	6,686,089.13 (195,009,150) 1.2%
オーストラリアドル	AUSTRALIAN GOVT	130,000.00	77,216.17
小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	130,000.00	77,216.17 (7,095,393) 0.0%
インドネシアルピア	INDONESIA GOVERNMENT	17,273,000,000.00	18,494,562,277.00
小計	銘柄数：1 組入時価比率：1.0%	17,273,000,000.00	18,494,562,277.00 (175,698,341) 1.1%
中国元	CHINA GOVERNMENT BOND	3,000,000.00	3,030,327.03
	CHINA GOVERNMENT BOND	1,000,000.00	1,024,995.18
	CHINA GOVERNMENT BOND	1,000,000.00	1,044,583.95
	CHINA GOVERNMENT BOND	4,500,000.00	4,885,373.11
	CHINA GOVERNMENT BOND	1,000,000.00	1,048,818.54
	CHINA GOVERNMENT BOND	13,500,000.00	14,743,149.12
小計	銘柄数：6	24,000,000.00	25,777,246.93

				(524,863,413)	
		組入時価比率：2.9%		3.2%	
	南アフリカランド	SOUTH AFRICA GOVT	55,587,000.00	34,077,344.64	
	小計	銘柄数：1	55,587,000.00	34,077,344.64	
		組入時価比率：1.5%		(275,004,171)	
	小計			6,680,819,555	
				(6,680,819,555)	
地方債証券	カナダドル	ONTARIO (PROVINCE OF)	610,000.00	528,353.14	
		PROVINCE OF QUEBEC	520,000.00	455,320.93	
	小計	銘柄数：2	1,130,000.00	983,674.07	
		組入時価比率：0.6%		(104,112,063)	
	小計			104,112,063	
				(104,112,063)	
特殊債券	米ドル	DELTA AIR LINES	60,000.00	58,585.14	
		DELTA AIR LINES	60,000.00	55,887.95	
		FHLMC #G67721	22,577.80	21,732.60	
		FHLMC #Q59799	16,809.62	16,719.37	
		FNMA #AL9546	44,099.96	40,271.30	
		FNMA #AS9760	54,001.89	52,061.60	
		FNMA #BK7700	82,462.61	79,543.08	
		FNMA #BM4897	39,081.33	35,688.37	
		FNMA #BP2319	56,304.74	48,867.43	
		FNMA #BR0663	85,740.87	68,772.55	
		FNMA #BR2664	75,623.11	60,893.58	
		FNMA #BR4035	85,828.45	68,976.66	
		FNMA #BR9104	74,229.53	62,402.77	
		FNMA #BU1030	92,334.29	74,205.13	
		FNMA #CA2047	49,949.75	48,259.10	
		FNMA #CA2482	47,436.05	45,830.48	
		FNMA #CA2652	59,557.32	58,609.23	
		FNMA #CA9121	80,550.43	67,439.76	
		FNMA #CB0414	84,722.41	70,615.05	
		FNMA #CB1666	184,589.45	154,129.01	
		FNMA #CB3044	98,125.32	81,847.52	

FNMA #FM1468	18,309.90	18,024.34
FNMA #FM1727	26,653.14	26,232.10
FNMA #FM2256	79,955.96	77,874.20
FNMA #FM3347	161,692.42	146,981.09
FNMA #FM3469	101,505.05	92,312.05
FNMA #FM3773	491,863.00	445,626.10
FNMA #FM4868	81,730.13	65,593.85
FNMA #FM6117	174,878.40	153,405.25
FNMA #FM6184	158,493.57	127,721.55
FNMA #FM6448	88,536.56	71,028.80
FNMA #FM6460	82,110.06	68,771.19
FNMA #FM6555	86,704.18	69,531.68
FNMA #FM7786	173,636.61	162,864.43
FNMA #FM7900	86,523.50	72,332.50
FNMA #FM7910	89,663.67	75,587.94
FNMA #FM8576	1,250,858.75	1,097,983.54
FNMA #FM8786	181,730.02	151,848.17
FNMA #FM8864	89,653.14	75,018.86
FNMA #FM9299	91,428.78	73,263.39
FNMA #FS0028	93,630.24	78,234.62
FNMA #FS0424	94,569.11	79,021.58
FNMA #FS0439	94,217.72	78,548.42
FNMA #FS0523	95,264.62	79,491.14
FNMA #FS0965	95,602.00	76,726.95
FNMA #FS1107	92,066.25	77,210.66
FNMA #FS1289	95,568.33	83,429.50
FNMA #FS1556	97,164.45	87,131.30
FNMA #FS2740	97,356.46	88,052.52
FNMA #FS2768	592,800.94	476,410.28
FNMA 30YR DEC FWD	100,000.00	98,703.84
G2SF 30YR DEC FWD	100,000.00	97,320.18
G2SF 30YR OCT FWD	200,000.00	195,187.22
GNMA #783669	54,227.70	48,455.49
GNMA #784571	68,694.14	63,417.22
GNMA #AA5649	19,653.93	17,423.68

GNMA #AB9109	15,761.59	13,992.71
GNMA #AB9207	13,519.23	12,002.01
GNMA #BS8439	44,882.75	41,208.63
GNMA II 30YR OCT FWD	300,000.00	256,098.18
GNMA II 30YR OCT FWD	100,000.00	87,658.42
GNMA II 30YR OCT FWD	100,000.00	90,289.95
GNMA2 #784825	12,961.66	11,535.90
GNMA2 #784905	63,651.36	55,802.43
GNMA2 #785218	81,626.73	66,936.46
GNMA2 #785219	79,987.38	65,390.34
GNMA2 #785220	84,733.88	69,693.30
GNMA2 #785221	82,600.79	67,889.97
GNMA2 #786095	98,347.95	84,992.20
GNMA2 #786134	96,019.34	83,338.65
GNMA2 #BS8420	37,715.12	35,930.05
GNMA2 #BS8546	78,085.84	65,268.85
GNMA2 #BZ4350	96,571.33	82,437.68
GNMA2 #CD8312	81,364.44	68,860.07
GNMA2 #CG3836	63,711.83	55,616.71
GNMA2 #CN5161	293,054.23	262,833.33
GNMA2 #MA1995	30,292.22	27,887.21
GNMA2 #MA3875	195,076.37	183,620.13
GNMA2 #MA4068	19,927.77	17,647.78
GNMA2 #MA4836	6,040.26	5,371.34
GNMA2 #MA4838	15,724.92	14,801.44
GNMA2 #MA4901	15,464.26	14,556.09
GNMA2 #MA5019	18,297.48	16,696.23
GNMA2 #MA5137	11,697.87	11,007.23
GNMA2 #MA5193	64,231.20	62,128.27
GNMA2 #MA5265	113,069.50	109,296.98
GNMA2 #MA5331	10,435.33	10,080.64
GNMA2 #MA5398	95,210.38	89,410.86
GNMA2 #MA5465	161,009.65	146,820.69
GNMA2 #MA5467	21,915.53	21,161.51
GNMA2 #MA5711	20,595.75	19,869.99

		GNMA2 #MA5929	54,286.49	47,897.45	
		GNMA2 #MA6477	18,506.71	17,858.42	
		GNMA2 #MA6544	20,409.54	19,679.72	
		GNMA2 #MA7194	345,992.41	305,272.21	
		GNMA2 #MA7312	389,698.01	333,353.48	
		GNMA2 #MA7649	182,825.00	156,305.59	
		GNR 2020-H04 FP	64,059.42	63,167.73	
		GNR 2020-H13 FA	67,145.42	65,065.63	
		MILEAGE PLUS HLDINGS LLC	66,500.00	66,027.37	
		QB6998	79,992.77	64,399.04	
		QB9057	82,005.17	65,946.55	
		QB9290	87,610.28	70,395.17	
		QC4446	88,210.85	73,680.65	
		QC5830	91,170.59	76,336.08	
		QC9511	92,909.01	74,478.55	
		RA3913	391,249.43	328,687.51	
		RA4175	78,589.19	65,981.88	
		RA4414	78,683.03	65,939.80	
		RA4703	84,523.45	68,244.99	
		RA5276	85,786.47	71,716.35	
		RA6332	188,500.87	150,931.10	
		SD0573	77,627.12	62,575.78	
		SD0958	96,213.95	86,185.02	
		SD1143	185,106.08	177,973.27	
		SD1218	564,627.78	528,932.29	
		SD7525	151,977.61	127,478.60	
		SD7548	371,663.27	311,286.16	
		SD7552	94,901.64	79,277.21	
		UMBS 30YR NOV FWD	200,000.00	159,734.56	
		ZS4720	86,774.81	83,733.81	
	小計	銘柄数：121	14,051,897.97	12,264,777.51	
				(1,787,836,617)	
		組入時価比率：10.0%		10.8%	
	小計			1,787,836,617	
				(1,787,836,617)	
社債券	米ドル	3M COMPANY	160,000.00	118,061.31	

ABBVIE INC	10,000.00	8,900.74	
ABBVIE INC	450,000.00	364,226.91	
AMERICAN INTL GROUP	40,000.00	37,274.30	
AMERICAN TRANSMISSION SY	40,000.00	31,589.62	
ANHEUSER-BUSCH	100,000.00	87,716.29	
ANHEUSER-BUSCH	10,000.00	8,411.59	
ANHEUSER-BUSCH	230,000.00	220,399.46	
AT&T INC	335,000.00	265,966.75	
AT&T INC	110,000.00	73,763.18	
BANK OF AMERICA CORP FRN	120,000.00	103,218.12	
BANK OF AMERICA CORP FRN	440,000.00	391,135.02	
BANK OF AMERICA CORP FRN	210,000.00	187,979.25	
BAUSCH HEALTH COS INC	50,000.00	19,636.13	
BAUSCH HEALTH COS INC	20,000.00	7,845.91	
BNP PARIBAS FRN	280,000.00	259,074.19	
BOEING CO	170,000.00	157,347.64	
BOEING CO	150,000.00	104,894.09	
BOEING CO	390,000.00	338,893.23	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	20,000.00	19,423.03	
BROADCOM INC-144A 351115	70,000.00	49,202.72	
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	210,000.00	169,576.01	
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	260,000.00	200,614.94	
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	200,000.00	149,971.57	
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	250,000.00	182,911.50	
CHARTER COMM OPT LLC/CAP	130,000.00	126,840.51	
CHARTER COMM OPT LLC/CAP	170,000.00	152,737.66	
CHARTER COMM OPT LLC/CAP	20,000.00	12,872.46	
CHARTER COMM OPT LLC/CAP	210,000.00	161,519.61	
CHENIERE ENERGY INC	40,000.00	36,910.50	
CIGNA CORP	160,000.00	151,118.63	
CIGNA CORP	190,000.00	168,886.64	
CIGNA CORP	150,000.00	131,856.07	
CITIGROUP INC	320,000.00	378,264.86	
CITIGROUP INC	250,000.00	205,172.07	
COCA-COLA CO	20,000.00	14,118.97	

COCA-COLA CO	10,000.00	6,519.60	
COMCAST CORP	500,000.00	472,707.89	
COMCAST CORP	110,000.00	85,490.38	
COMCAST CORP	50,000.00	29,235.48	
CSC HOLDINGS LLC	890,000.00	683,165.54	
CVS HEALTH CORP	116,000.00	109,651.06	
CVS HEALTH CORP	160,000.00	142,310.67	
CVS HEALTH CORP	400,000.00	350,035.13	
DANSKE BANK A/S	200,000.00	198,467.12	
DELTA AIR LINES	610,000.00	615,332.09	
DEVON ENERGY CORPORATION	60,000.00	61,081.23	
DEVON ENERGY CORPORATION	500,000.00	504,276.89	
DEVON ENERGY CORPORATION	70,000.00	64,440.12	
DIAMONDBACK ENERGY INC	70,000.00	60,719.10	
DISH NETWORK CORP	340,000.00	306,887.99	
ECOPETROL SA	930,000.00	863,404.67	
ENERGY TRANSFER LP	130,000.00	113,193.58	
ENERGY TRANSFER OPERATNG	330,000.00	280,404.54	
ENTERPRISE PRODUCTS OPER	340,000.00	293,817.01	
ENTERPRISE PRODUCTS OPER	30,000.00	21,217.31	
FORD MOTOR COMPANY	240,000.00	175,666.70	
FREEPORT-MCMORAN INC	70,000.00	61,941.81	
FREEPORT-MCMORAN INC	50,000.00	41,692.74	
GALAXY PIPELINE ASSETS	680,000.00	524,147.29	
GENERAL MOTORS	60,000.00	56,869.20	
GENERAL MOTORS	60,000.00	55,103.05	
GLENCORE FUNDING LLC	470,000.00	435,775.77	
GOLDMAN SACHS GROUP	340,000.00	313,865.02	
GOLDMAN SACHS GROUP	320,000.00	321,396.66	
GOLDMAN SACHS GROUP FRN	80,000.00	62,147.31	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	70,000.00	66,832.97	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	290,000.00	243,367.72	
GSK CONSUMER HEALTHCARE	260,000.00	221,676.96	
HCA INC	10,000.00	9,888.57	
HCA INC	390,000.00	379,353.81	

HCA INC	10,000.00	9,584.49	
HCA INC	70,000.00	68,349.32	
HCA INC	100,000.00	82,958.82	
HOME DEPOT INC	70,000.00	60,153.63	
HOME DEPOT INC	140,000.00	106,131.76	
HSBC HOLDINGS PLC	640,000.00	607,019.14	
HSBC HOLDINGS PLC FRN	200,000.00	192,537.62	
HUMANA INC	20,000.00	15,254.86	
JPMORGAN CHASE & CO	280,000.00	263,679.52	
JPMORGAN CHASE & CO FRN	150,000.00	139,051.60	
JPMORGAN CHASE & CO FRN	500,000.00	459,653.61	
KRAFT HEINZ FOODS CO	10,000.00	9,062.78	
KRAFT HEINZ FOODS CO	30,000.00	26,020.16	
KRAFT HEINZ FOODS CO	60,000.00	52,532.54	
KRAFT HEINZ FOODS CO	30,000.00	25,219.14	
KRAFT HEINZ FOODS CO	40,000.00	36,396.85	
MAGALLANES INC	210,000.00	152,969.59	
MAGALLANES INC	140,000.00	101,751.08	
MCDONALD'S CORP	30,000.00	24,234.50	
MORGAN STANLEY	130,000.00	121,172.69	
MORGAN STANLEY FRN	310,000.00	268,006.73	
NGPL PIPECO LLC	170,000.00	158,526.58	
NORTHROP GRUMMAN CORP	50,000.00	47,765.21	
OCCIDENTAL PETROLEUM	310,000.00	285,788.86	
OCCIDENTAL PETROLEUM	70,000.00	71,529.56	
OCCIDENTAL PETROLEUM	300,000.00	251,664.51	
OCCIDENTAL PETROLEUM	280,000.00	233,831.99	
PETROBRAS GLOBAL FINANCE	970,000.00	979,743.62	
RAYTHEON TECH CORP	50,000.00	40,596.53	
SANDS CHINA LTD	460,000.00	354,275.47	
SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	200,000.00	186,672.75	
SOUTHERN COPPER CORP	760,000.00	671,820.52	
SOUTHWESTERN ENERGY CO	10,000.00	8,544.17	
SPIRIT LOYALTY KY LTD/IP	47,872.00	48,072.17	
SUNOCO LOGISTICS PARTNER	90,000.00	72,829.45	

	T-MOBILE USA INC	20,000.00	18,029.55	
	T-MOBILE USA INC	50,000.00	41,475.16	
	T-MOBILE USA INC	380,000.00	306,450.10	
	T-MOBILE USA INC	50,000.00	42,338.51	
	T-MOBILE USA INC	220,000.00	173,628.35	
	TARGA RESOURCES PARTNERS	20,000.00	19,856.10	
	TARGA RESOURCES PARTNERS	30,000.00	29,942.05	
	TARGA RESOURCES PARTNERS	10,000.00	8,249.19	
	TEVA PHARMACEUTICALS NE	10,000.00	9,701.95	
	TEVA PHARMACEUTICALS NE	610,000.00	507,088.47	
	TEVA PHARMACEUTICALS NE	200,000.00	168,551.65	
	TIME WARNER ENT	260,000.00	278,093.24	
	UNITED AIRLINES INC	600,000.00	504,571.37	
	UNITEDHEALTH GROUP INC	30,000.00	29,215.33	
	UNITEDHEALTH GROUP INC	100,000.00	78,594.13	
	VERIZON COMMUNICATIONS	590,000.00	556,978.91	
	VERIZON COMMUNICATIONS	90,000.00	66,040.17	
	VIRGIN MEDIA SECURED FIN	230,000.00	199,908.30	
	VISA INC	120,000.00	87,040.76	
	VOC ESCROW LTD	230,000.00	189,404.13	
	VODAFONE GROUP PLC	310,000.00	292,239.54	
	WELLS FARGO & COMPAN FRN	160,000.00	148,573.12	
	WELLS FARGO & COMPAN FRN	390,000.00	321,636.35	
	WELLS FARGO & COMPAN FRN	370,000.00	323,709.36	
	WELLS FARGO & COMPANY	410,000.00	385,866.31	
	WELLS FARGO & COMPANY	20,000.00	14,932.80	
	WESTERN MIDSTREAM OPERAT	680,000.00	585,717.38	
	WESTERN MIDSTREAM OPERAT	240,000.00	190,517.62	
	WYNN MACAU LTD	200,000.00	144,393.73	
小計	銘柄数：135	28,788,872.00	25,286,559.91	
			(3,686,021,838)	
	組入時価比率：20.5%		22.3%	
ユ-口	ABBVIE INC	100,000.00	98,816.33	
	ABN AMRO BANK NV	660,000.00	630,330.20	
	ALLIANZ FINANCE II B.V.	300,000.00	259,857.45	

	ANGLO AMERICAN CAPITAL	500,000.00	468,338.67
	BANCO SANTANDER SA	500,000.00	470,640.24
	BANK OF AMERICA CORP FRN	660,000.00	605,502.85
	BARCLAYS PLC FRN	1,140,000.00	1,121,993.50
	BNP PARIBAS FRN	300,000.00	248,793.30
	CREDIT AGRICOLE FRN	1,200,000.00	1,106,207.94
	CREDIT SUISSE GROUP FRN	460,000.00	418,566.40
	CREDIT SUISSE GROUP FRN	600,000.00	522,244.81
	CREDIT SUISSE GROUP FRN	140,000.00	113,409.62
	DANSKE BANK A/S FRN	790,000.00	707,203.88
	DEUTSCHE TELEKOM INT FIN	440,000.00	458,839.11
	GENERAL ELECTRIC CO	610,000.00	572,141.86
	HOLCIM FINANCE LUX SA	530,000.00	443,621.99
	HSBC HOLDINGS PLC FRN	320,000.00	300,161.28
	ING GROEP NV FRN	500,000.00	480,710.72
	INTESA SANPAOLO SPA	560,000.00	533,056.64
	KONINKLIJKE PHILIPS NV	100,000.00	85,003.71
	LLOYDS BANKING GROUP FRN	840,000.00	822,476.76
	MCDONALD'S CORP	900,000.00	837,912.19
	MUNICH RE FRN	300,000.00	260,147.32
	NETFLIX INC	550,000.00	474,690.13
	ROYAL BK SCOTLND	530,000.00	530,260.83
	STANDARD CHARTERED P FRN	780,000.00	706,587.62
	SVENSKA HANDELSBANKE FRN	680,000.00	673,394.24
	TORONTO-DOMINION BANK	1,020,000.00	943,617.00
	UBS GROUP AG FRN	390,000.00	367,415.44
	UBS GROUP FUNDING	1,040,000.00	1,009,122.10
	UNICREDIT SPA FRN	500,000.00	485,071.54
	VOLKSWAGEN FIN SERV	890,000.00	853,511.05
	VOLKSWAGEN FIN SERV	300,000.00	292,712.39
小計	銘柄数：33	19,130,000.00	17,902,359.11
			(2,537,122,333)
	組入時価比率：14.1%		15.4%
英ポンド	AVIVA PLC FRN	220,000.00	202,286.63
	BNP PARIBAS FRN	500,000.00	398,620.18
	ENEL FINANCE INTL NV	370,000.00	279,129.45

		HSBC HOLDINGS PLC FRN	370,000.00	317,942.14	
		ROYAL BANK OF CANADA	710,000.00	618,845.91	
		SCOTTISH WIDOWS LTD	380,000.00	377,167.19	
	小計	銘柄数：6	2,550,000.00	2,193,991.50	(354,614,846)
		組入時価比率：2.0%			2.1%
	中国元	AGRICUL DEV BANK CHINA	14,000,000.00	14,163,598.54	
		AGRICUL DEV BANK CHINA	1,390,000.00	1,429,302.26	
		EXPORT-IMPORT BANK CHINA	6,000,000.00	6,147,636.18	
		EXPORT-IMPORT BANK CHINA	3,000,000.00	3,140,073.96	
	小計	銘柄数：4	24,390,000.00	24,880,610.94	(506,606,559)
		組入時価比率：2.8%			3.1%
	小計			7,084,365,576	(7,084,365,576)
投資証券	米ドル	WA CHINA BOND FUND L.L.C.	547,626.789	5,877,678.32	
	小計	銘柄数：1	547,626.789	5,877,678.32	(856,789,168)
		組入時価比率：4.8%			5.2%
	小計			856,789,168	(856,789,168)
	合計			16,513,922,979	(16,513,922,979)
	(外貨建証券の邦貨換算額)				

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額（単位：円）であります。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び小計欄の合計金額に対する比率であります。

(注3)投資証券の券面総額欄は口数を表しております。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

債券関連

「注記表（その他の注記）3 デリバティブ取引関係」の「取引の時価等に関する事項 債券関連」において使用した表が、附属明細表別紙様式第1号の「第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表」に求められている項目（記載上の注意を含む）を満たしているため、当該表の添付を省略しております。

通貨関連

「注記表(その他の注記)3 デリバティブ取引関係」の「取引の時価等に関する事項 通貨関連」において使用した表が、附属明細表別紙様式第1号の「第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表」に求められている項目(記載上の注意を含む)を満たしているため、当該表の添付を省略しております。

金利関連

「注記表(その他の注記)3 デリバティブ取引関係」の「取引の時価等に関する事項 金利関連」において使用した表が、附属明細表別紙様式第1号の「第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表」に求められている項目(記載上の注意を含む)を満たしているため、当該表の添付を省略しております。

【中間財務諸表】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）（以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。
- なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2022年10月12日から2023年4月11日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

【ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 2022年10月11日現在	当中間計算期間末 2023年 4月11日現在
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券	367,714,007	264,502,811
未収入金	3,879,714	2,156,145
流動資産合計	371,593,721	266,658,956
資産合計	371,593,721	266,658,956
負債の部		
流動負債		
未払解約金	3,879,714	2,156,145
未払受託者報酬	66,312	49,434
未払委託者報酬	861,977	642,577
その他未払費用	99,819	75,841
流動負債合計	4,907,822	2,923,997
負債合計	4,907,822	2,923,997
純資産の部		
元本等		
元本	305,465,508	215,676,170
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	61,220,391	48,058,789
（分配準備積立金）	36,065,802	24,947,053
元本等合計	366,685,899	263,734,959
純資産合計	366,685,899	263,734,959
負債純資産合計	371,593,721	266,658,956

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間		当中間計算期間	
	自	至	自	至
	2021年10月12日	2022年 4月11日	2022年10月12日	2023年 4月11日
営業収益				
有価証券売買等損益		1,583,154		6,656,679
営業収益合計		1,583,154		6,656,679
営業費用				
受託者報酬		55,621		49,434
委託者報酬		723,021		642,577
その他費用		83,999		75,841
営業費用合計		862,641		767,852
営業利益又は営業損失（ ）		720,513		5,888,827
経常利益又は経常損失（ ）		720,513		5,888,827
中間純利益又は中間純損失（ ）		720,513		5,888,827
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）		188,913		1,047,364
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		56,419,463		61,220,391
剰余金増加額又は欠損金減少額		4,794,496		994,562
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		4,794,496		994,562
剰余金減少額又は欠損金増加額		3,521,969		18,997,627
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		3,521,969		18,997,627
分配金		-		-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）		58,223,590		48,058,789

（ 3 ）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

項目	当中間計算期間
	自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

前計算期間末 2022年10月11日現在	当中間計算期間末 2023年 4月11日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 305,465,508口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 215,676,170口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 一口当たり純資産額 1.2004円 (一万口当たり純資産額) (12,004円)	2. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 一口当たり純資産額 1.2228円 (一万口当たり純資産額) (12,228円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前中間計算期間	当中間計算期間
	自 2021年10月12日 至 2022年 4月11日	自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96 相当額を支払っております。	同左

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	前計算期間	当中間計算期間
	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日	自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。

2.時価の算定方法	親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

1 元本の移動

項目	前計算期間 自 2021年10月12日 至 2022年10月11日	当中間計算期間 自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
期首元本額	275,530,832円	305,465,508円
期中追加設定元本額	86,503,690円	4,969,642円
期中解約元本額	56,569,014円	94,758,980円

2 デリバティブ取引関係

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況は次の通りであります。

「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

ウエスタン・グローバル債券マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	2022年10月11日現在	2023年 4月11日現在
資産の部		
流動資産		
預金	237,848,509	361,327,603
コール・ローン	345,307,835	747,386,873
国債証券	6,680,819,555	8,005,407,964
地方債証券	104,112,063	90,962,557
特殊債券	1,787,836,617	2,882,687,028
社債券	7,084,365,576	6,482,985,266
投資証券	856,789,168	688,464,521
コール・オプション（買）	3,604,648	-
派生商品評価勘定	518,870,851	399,072,573
未収入金	9,963,134,214	1,125,314,190
未収利息	216,087,437	155,536,010
前払費用	10,110,986	12,586,340
差入委託証拠金	923,284,577	169,274,033
流動資産合計	28,732,172,036	21,121,004,958
資産合計	28,732,172,036	21,121,004,958
負債の部		
流動負債		
売付債券	88,337,882	124,887,349
プット・オプション（売）	45,102,390	-
派生商品評価勘定	1,169,080,873	199,756,280
未払金	434,145,252	2,279,429,930
未払解約金	9,029,078,324	2,156,145
未払利息	917	1,578
流動負債合計	10,765,745,638	2,606,231,282
負債合計	10,765,745,638	2,606,231,282
純資産の部		
元本等		
元本	14,668,148,408	14,801,002,228
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,298,277,990	3,713,771,448
元本等合計	17,966,426,398	18,514,773,676
純資産合計	17,966,426,398	18,514,773,676
負債純資産合計	28,732,172,036	21,121,004,958

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

項目	自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券・地方債証券・特殊債券・社債券・売付債券</p> <p>移動平均法（買付約定後、最初の利払日までは個別法）に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。</p> <p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、投資証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>先物取引・オプション取引</p> <p>個別法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。</p> <p>為替予約取引</p>

3.その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>為替予約の評価は、原則として、わが国における貸借対照表作成日の対顧客先物売買取相場の仲値によって計算しております。</p> <p>直物為替先渡取引 原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
------------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

2022年10月11日現在	2023年 4月11日現在
1. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの受益権の総数 <p style="text-align: right;">14,668,148,408口</p>	1. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの受益権の総数 <p style="text-align: right;">14,801,002,228口</p>
2. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの 一口当たり純資産額 1.2249円 (一万口当たり純資産額) (12,249円)	2. 開示対象ファンドの期末における当該ファンドの 一口当たり純資産額 1.2509円 (一万口当たり純資産額) (12,509円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日	自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
1.貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	同左

2.時価の算定方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券、投資証券、売付債券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>派生商品評価勘定、コール・オプション(買)、プット・オプション(売) デリバティブ取引については、（その他の注記）の2 デリバティブ取引関係に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券、投資証券、売付債券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>派生商品評価勘定 デリバティブ取引については、（その他の注記）の2 デリバティブ取引関係に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	同左

（その他の注記）

1 元本の移動等

項目	自 2021年10月12日 至 2022年10月11日	自 2022年10月12日 至 2023年 4月11日
開示対象ファンドの期首における当該ファンドの元本額	15,647,908,492円	14,668,148,408円
同期中における追加設定元本額	8,108,322,469円	2,271,919,991円
同期中における解約元本額	9,088,082,553円	2,139,066,171円
元本の内訳		
ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）	300,199,206円	211,450,005円
ウエスタン・グローバル債券ファンド（適格機関投資家専用）	14,367,949,202円	14,589,552,223円
計	14,668,148,408円	14,801,002,228円

2 デリバティブ取引関係
取引の時価等に関する事項
債券関連

種類	2022年10月11日現在				2023年 4月11日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
	うち1年 超				うち1年 超			
市場取引								
債券先物取引								
買建	8,347,976,260	-	7,979,384,624	368,591,636	9,785,211,789	-	10,060,796,815	275,585,026
売建	3,546,078,094	-	3,356,864,041	189,214,053	3,757,171,348	-	3,861,486,057	104,314,709
債券先物オプション 取引								
買建								
コール	523,230,240 (4,978,793)	-	3,537,331	1,441,462	-	-	-	-
売建								
プット	501,121,920 (8,083,539)	-	10,501,452	2,417,913	-	-	-	-
合計	12,918,406,514	-	11,350,287,448	183,236,958	13,542,383,137	-	13,922,282,872	171,270,317

(注) 時価の算定方法

外国先物取引について

A 外国先物取引について

- 1) 外国先物取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

B 外国オプション取引について

- 1) 外国オプション取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
- 3) 契約額等のうち、()内はオプション料であります。

通貨関連

種類	2022年10月11日現在				2023年 4月11日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
	うち1年 超				うち1年 超			
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
買建	19,029,820,607	-	19,312,399,849	282,579,242	4,369,592,557	-	4,429,973,434	60,380,877
米ドル	12,723,837,651	-	12,874,892,425	151,054,774	1,727,714,082	-	1,745,524,387	17,810,305

カナダドル	1,133,705,261	-	1,156,430,668	22,725,407	371,035,439	-	377,386,626	6,351,187
メキシコペソ	243,139,200	-	252,204,692	9,065,492	83,827,432	-	90,643,536	6,816,104
ユーロ	2,251,073,615	-	2,313,854,667	62,781,052	830,927,452	-	854,747,766	23,820,314
英ポンド	474,219,899	-	475,840,165	1,620,266	83,066,752	-	86,002,264	2,935,512
スイスフラン	148,444,380	-	157,568,868	9,124,488	102,100,917	-	105,626,448	3,525,531
スウェーデンク ローナ	224,635,480	-	225,292,728	657,248	339,895,492	-	343,568,894	3,673,402
ノルウェークロー ネ	238,223,914	-	242,840,935	4,617,021	209,382,444	-	207,995,305	1,387,139
デンマーククロー ネ	59,027,864	-	62,416,104	3,388,240	38,500,640	-	39,832,730	1,332,090
チェココルナ	-	-	-	-	22,788,262	-	24,138,385	1,350,123
ハンガリーフォリ ント	13,751,747	-	13,764,378	12,631	14,688,188	-	15,952,787	1,264,599
ポーランドズロチ	143,650,735	-	145,112,273	1,461,538	-	-	-	-
オーストラリアド ル	329,126,012	-	334,918,060	5,792,048	406,755,224	-	397,275,701	9,479,523
ニュージーランド ドル	44,946,110	-	44,617,595	328,515	30,419,772	-	30,597,483	177,711
シンガポールドル	60,281,344	-	64,755,200	4,473,856	36,169,535	-	36,938,506	768,971
タイバーツ	80,077,787	-	84,391,500	4,313,713	50,432,928	-	52,147,200	1,714,272
イスラエルシュケ ル	-	-	-	-	21,887,998	-	21,595,416	292,582
南アフリカランド	157,239,262	-	157,661,519	422,257	-	-	-	-
中国オフショア人 民元	704,440,346	-	705,838,072	1,397,726	-	-	-	-
売建	28,458,002,693	-	28,912,069,534	454,066,841	3,868,514,501	-	3,934,839,483	66,324,982
米ドル	19,780,435,397	-	20,136,840,206	356,404,809	1,874,387,564	-	1,906,550,068	32,162,504
カナダドル	783,461,517	-	790,279,921	6,818,404	-	-	-	-
メキシコペソ	427,328,389	-	432,697,402	5,369,013	-	-	-	-
ユーロ	3,108,292,598	-	3,099,527,963	8,764,635	70,755,509	-	71,498,793	743,284
英ポンド	949,257,585	-	957,196,203	7,938,618	299,918,554	-	314,278,972	14,360,418
スイスフラン	58,557,000	-	58,358,840	198,160	-	-	-	-
スウェーデンク ローナ	149,255,566	-	149,626,987	371,421	102,413,002	-	103,453,756	1,040,754
ノルウェークロー ネ	260,342,175	-	263,546,277	3,204,102	-	-	-	-
デンマーククロー ネ	23,547,096	-	23,406,039	141,057	-	-	-	-
ポーランドズロチ	423,061,645	-	420,106,481	2,955,164	154,123,205	-	162,539,268	8,416,063

オーストラリアドル	144,991,716	-	142,933,908	2,057,808	-	-	-	-
ニュージーランドドル	14,738,688	-	14,602,122	136,566	-	-	-	-
シンガポールドル	21,241,857	-	21,247,800	5,943	-	-	-	-
タイバーツ	27,210,332	-	26,784,300	426,032	-	-	-	-
中国元	157,098,068	-	157,183,091	85,023	-	-	-	-
南アフリカランド	282,681,008	-	282,279,676	401,332	-	-	-	-
中国オフショア人民元	1,846,502,056	-	1,935,452,318	88,950,262	1,366,916,667	-	1,376,518,626	9,601,959
合計	47,487,823,300	-	48,224,469,383	171,487,599	8,238,107,058	-	8,364,812,917	5,944,105

(注) 時価の算定方法

為替予約取引について

1. 貸借対照表作成日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

貸借対照表作成日において為替予約の受渡日（以下「当該日」という。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

貸借対照表作成日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 貸借対照表作成日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 貸借対照表作成日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2. 貸借対照表作成日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、貸借対照表作成日の対顧客相場の仲値で評価しております。

通貨関連

種類	2022年10月11日現在				2023年 4月11日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
	うち1年超				うち1年超			
市場取引以外の取引								
直物為替先渡取引								
買建	2,403,757,747	-	2,326,333,912	77,423,835	1,299,574,071	-	1,309,314,442	9,740,371
インドネシアルピア	148,637,392	-	144,424,386	4,213,006	80,453,337	-	82,382,382	1,929,045
韓国ウォン	354,776,642	-	333,551,670	21,224,972	181,930,694	-	181,794,924	135,770
中国元	1,900,343,713	-	1,848,357,856	51,985,857	1,037,190,040	-	1,045,137,136	7,947,096
売建	1,059,644,769	-	1,050,233,204	9,411,565	31,877,494	-	32,272,612	395,118

インドネシアルピア	36,342,068	-	36,092,490	249,578	-	-	-	-
韓国ウォン	128,115,068	-	126,314,531	1,800,537	-	-	-	-
中国元	895,187,633	-	887,826,183	7,361,450	-	-	-	-
インドルピー	-	-	-	-	31,877,494	-	32,272,612	395,118
合計	3,463,402,516	-	3,376,567,116	68,012,270	1,331,451,565	-	1,341,587,054	9,345,253

(注) 時価の算定方法

直物為替先渡取引について

1. 価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 直物為替先渡取引の残高は、契約額ベースで表記しております。

金利関連

種類	2022年10月11日現在				2023年 4月11日現在			
	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
		うち1年超				うち1年超		
市場取引								
金利先物取引								
買建	8,438,000,653	2,797,761,787	8,206,668,083	231,332,570	2,636,848,222	-	2,629,889,990	6,958,232
売建	-	-	-	-	7,023,560,762	-	6,991,957,702	31,603,060
金利先物オプション取引								
買建								
コール	2,682,582,450	-	67,317	2,950,072	-	-	-	-
	(3,017,389)							
売建								
プット	2,665,753,200	-	34,600,938	30,682,904	-	-	-	-
	(3,918,034)							
合計	13,786,336,303	2,797,761,787	8,241,336,338	264,965,546	9,660,408,984	-	9,621,847,692	24,644,828

(注) 時価の算定方法

A 外国先物取引について

- 1) 外国先物取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。
- 2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

B 外国オプション取引について

- 1) 外国オプション取引の残高表示は、契約額によっております。想定元本ベースではありません。

2) 貸借対照表作成日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

3) 契約額等のうち、()内はオプション料であります。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

2【ファンドの現況】

以下は、2023年4月28日現在のファンドの状況であります。

【ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）】

【純資産額計算書】

資産総額	56,882,235円
負債総額	20,500円
純資産総額（ - ）	56,861,735円
発行済口数	46,540,065口
1万口当たり純資産額 （ / ×10,000 ）	12,218円

（参考）

ウエスタン・グローバル債券マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	19,951,051,480円
負債総額	1,415,584,556円
純資産総額（ - ）	18,535,466,924円
発行済口数	14,825,645,325口
1万口当たり純資産額 （ / ×10,000 ）	12,502円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）名義書換

受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求を行なわないものとしします。

（2）受益者に対する特典

該当事項はありません。

（3）譲渡制限の内容

譲渡制限はありません。

受益権の譲渡

- ・受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとしします。
- ・前述の申請のある場合には、振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとしします。ただし、振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社債、株式等の振替に関する法律の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知

するものとしします。

- ・前述の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合などにおいて、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとしします。

(5) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社債、株式等の振替に関する法律に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとしします。

(6) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、解約請求の受付、解約金および償還金の支払いなどについては、約款の規定によるほか、民法その他の法令などにしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額（2023年4月末現在）

資本金の額	: 1,000百万円
委託会社が発行する株式総数	: 100,000株
発行済株式総数	: 78,270株
最近5年間における主な資本金の額の増減	: 該当事項はありません。

(2) 委託会社の機構（2023年4月末現在）

経営の意思決定機構

3名以上の取締役が、株主総会の決議によって選任されます。取締役の選任については、累積投票を行いません。取締役の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。補欠としてまたは増員により選任された取締役の任期は、他の在任取締役の任期の満了する時までとします。取締役会は、取締役の中から1名以上の代表取締役を選定します。また、取締役会は、代表取締役の中から社長を選定します。取締役会は、取締役の中から会長、副社長、専務取締役及び常務取締役を選定することができます。

取締役会は社長が招集し、議長となります。ただし、社長が取締役会を招集することができずまたは招集することを欲しないときは、取締役会があらかじめ定めた順序にしたがい、他の取締役が取締役会を招集します。取締役会の招集通知は、各取締役及び各監査役に対し会日の前日までに発します。ただし、取締役及び監査役の前日の同意があるときは、招集通知を省略または招集期間を短縮することができます。取締役会は、法令または定款に定める事項、その他委託会社の業務執行に関する重要な事項について決議します。

運用の意思決定機構

組織規則においてファンドの運用に係る部署を規定しており、証券投資信託委託業務にかかる業務運営規程において、証券投資信託にかかわる信託財産の運用に関し、基本的な事項を定めております。

運用部門及び関連部署の代表で構成される社内委員会が開催され、各ファンドの運用状況の報告のほか、その他運用に関する事項について審議します。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として、投資運用業を行っています。また、「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業にかかる業務の一部および投資助言・代理業務を行っています。

2023年4月末現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。

ファンドの種類	本数	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	74	842,980
単位型株式投資信託	2	2,324
合計	76	845,304

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令

第52号）に従って作成しております。

財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

- 2．当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

中間財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

- 3．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第25期事業年度（2021年10月1日から2022年9月30日まで）の財務諸表及び第26期中間会計期間（2022年10月1日から2023年3月31日まで）の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査及び中間監査を受けております。

（1）【貸借対照表】

（単位：千円）

	第24期事業年度 (2021年9月30日)	第25期事業年度 (2022年9月30日)
資 産 の 部		
流動資産		
現金及び預金	2,474,667	3,947,505
前払費用	71,336	80,305
未収委託者報酬	631,603	656,861
未収運用受託報酬	1,110,294	1,157,372
未収投資助言報酬	3,198	1,804
その他未収収益	433	352
未収入金	1,267,361	404,458
立替金	868	50
流動資産計	5,559,763	6,248,712
固定資産		
有形固定資産	1	1
建物	143,615	52,259
器具備品	44,714	13,697
有形固定資産計	188,330	65,956
無形固定資産		
ソフトウェア	2,770	4,640
無形固定資産計	2,770	4,640
投資その他の資産		
投資有価証券	128,387	9,285
長期差入保証金	88,045	24,520
前払年金費用	82,788	-
繰延税金資産	261,300	160,859
投資その他の資産計	560,521	194,664
固定資産計	751,622	265,261
資産合計	6,311,385	6,513,973

(単位:千円)

	第24期事業年度 (2021年9月30日)	第25期事業年度 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
預り金	26,290	15,529
未払金	590,344	689,373
未払手数料	201,263	176,484
未払消費税等	57,311	177,780
その他未払金	330,246	333,681
未払収益分配金	1,522	1,427
未払費用	1,821,218	920,519
賞与引当金	136	256
未払法人税等	69,317	246,811
前受金	65,939	62,121
流動負債計	2,573,246	1,934,611
固定負債		
退職給付引当金	72,422	62,893
役員退職慰労引当金	44,935	-
その他固定負債	19,579	19,579
固定負債計	136,936	82,472
負債合計	2,710,183	2,017,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	226,405	226,405
その他資本剰余金	647,958	647,958
資本剰余金計	874,364	874,364
利益剰余金		
利益準備金	23,594	23,594
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,703,244	2,598,931
利益剰余金計	1,726,838	2,622,525
株主資本合計	3,601,202	4,496,889
純資産合計	3,601,202	4,496,889
負債純資産合計	6,311,385	6,513,973

(2)【損益計算書】

(単位:千円)

	第24期事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	第25期事業年度 (自 2021年10月 1日 至 2022年9月30日)
営業収益		

委託者報酬	4,490,345	7,902,810
運用受託報酬	1,211,134	3,850,773
業務受託報酬	2,185,683	4,879,107
投資助言報酬	7,102	7,801
その他営業収益	2,112	17,536
営業収益計	7,896,378	16,658,030
営業費用		
支払手数料	1,600,415	2,776,550
広告宣伝費	11,607	54,787
調査費	4,022,444	8,848,679
調査費	98,195	195,927
委託調査費	3,923,540	8,651,841
図書費	708	910
委託計算費	258,692	486,283
営業雑経費	87,622	144,714
通信費	14,511	28,262
印刷費	62,750	111,081
協会費	9,829	4,699
諸会費	531	670
営業費用計	5,980,782	12,311,015
一般管理費		
給料	735,276	1,438,533
役員報酬	53,359	74,114
給料・手当	623,644	1,127,298
賞与	57,154	237,000
賞与引当金繰入	1,116	120
交際費	758	3,995
旅費交通費	804	5,745
租税公課	14,863	86,208
不動産賃借料	151,324	235,383
退職給付費用	103,836	171,625
役員退職慰労引当金繰入額	2,990	-
固定資産減価償却費	23,953	35,674
業務委託費	297,163	1,094,944
諸経費	184,443	215,707
一般管理費計	1,515,414	3,287,817
営業利益	400,180	1,059,197

(単位：千円)

	第24期事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	第25期事業年度 (自 2021年10月 1日 至 2022年 9月30日)
営業外収益		
受取利息	11	114
受取配当金	1,519	1,622
還付加算金	843	26

保険解約返戻金	8,003	-
為替差益	-	363,927
雑収益	-	461
営業外収益計	10,376	366,153
営業外費用		
投資有価証券売却損	-	1,680
為替差損	22,687	-
雑損失	-	628
営業外費用計	22,687	2,308
経常利益	387,870	1,423,042
特別利益		
資産除去債務履行差額	-	34,491
特別利益計	-	34,491
特別損失		
解約違約金	-	122,076
固定資産除却損	-	96,720
特別損失計	-	218,796
税引前当期純利益	387,870	1,238,737
法人税、住民税及び事業税	43,566	242,608
法人税等調整額	71,794	100,441
法人税等合計	28,228	343,049
当期純利益	416,098	895,687

(3) 【株主資本等変動計算書】

第24期事業年度（自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本							株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金			利益剰余金				
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	1,000,000	226,405	-	226,405	23,594	753,208	776,802	2,003,208	2,003,208
当期変動額									
当期純利益	-	-	-	-	-	416,098	416,098	416,098	416,098
合併による増加	-		647,958	647,958	-	533,937	533,937	1,181,895	1,181,895
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	647,958	647,958	-	950,035	950,035	1,597,993	1,597,993
当期末残高	1,000,000	226,405	647,958	874,364	23,594	1,703,244	1,726,838	3,601,202	3,601,202

第25期事業年度（自 2021年10月 1日 至 2022年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本 剰余金			利益剰余金			株主資本 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	1,000,000	226,405	647,958	874,364	23,594	1,703,244	1,726,838	3,601,202	3,601,202
当期変動額									
当期純利益	-	-	-	-	-	895,687	895,687	895,687	895,687
株主資本以外 の項目の当期 変動額（純 額）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	895,687	895,687	895,687	895,687
当期末残高	1,000,000	226,405	647,958	874,364	23,594	2,598,931	2,622,525	4,496,889	4,496,889

[注記事項]

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準 及び評価方法	(1) 其他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 期末日の市場価額等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法
2. 固定資産の減価償却 の方法	(1) 有形固定資産 定額法によっております。 なお、主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 6年～18年 器具備品 3年～8年 (2) 無形固定資産 ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
3. 引当金の計上基準	(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支給見込額のうち当事業年度末までの期間に係る部分の金額を計上しております。 (2) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合用支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

<p>4. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>当社は、投資運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、業務受託報酬及び投資助言報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>収益は次の5つのステップを適用し認識しております。</p> <p>ステップ1：顧客との契約を識別する。</p> <p>ステップ2：契約における履行義務を識別する。</p> <p>ステップ3：取引価額を算定する。</p> <p>ステップ4：契約における履行義務に取引価額を配分する。</p> <p>ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。</p> <p>委託者報酬は投資信託の信託約款に基づきファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の履行義務を負っており、日々の運用ファンドの純資産総額に各報酬率を乗じて算出されます。当該履行義務は運用期間において日々充足されると判断し、運用期間に渡り収益として認識しております。</p> <p>運用受託報酬は対象顧客との投資一任契約に基づき投資一任業務の履行義務を負っており、口座の計算期間における日次又は月次の受託資産の時価平均に、契約書に記載された一定の報酬率（もしくは段階報酬率）を乗じて算出されます。当該履行義務は運用期間に渡り日々充足されると判断し、サービス提供期間に渡り収益として認識しております。</p> <p>成功報酬は対象顧客との投資一任契約に基づき特定のベンチマーク又はその他のパフォーマンス目標を上回る運用履行義務を負っており、口座の計算期間における日次又は月次の受託資産の時価平均に、契約書に記載された成功報酬率を乗じて算出されます。当該履行義務は口座の計算期間末において充足され、期末時点で将来著しい減額が発生しない可能性が高いと見込まれた時点で収益として認識しております。</p> <p>投資助言報酬は対象顧客との投資助言契約に基づき投資助言業務の履行義務を負っており、口座の計算期間における日次又は月次の受託資産の時価平均に、契約書に記載された一定の報酬率（もしくは段階報酬率）を乗じて算出されます。当該履行義務は運用期間に渡り日々充足されると判断しサービス提供期間に渡り収益として認識しております。</p> <p>業務受託報酬は、当社の関係会社とのサービス契約書に基づき営業・マーケティング・オペレーショナル・アドミニストレーションなどのサポートを提供する履行義務を負っており、月々の実際の費用額にグループ全体で適用されている移転価格税制ポリシーで定められたマークアップが加算されて算出されます。当該履行義務はサービス期間に渡り充足されると判断しサービス提供期間に渡り収益として認識しております。</p>
<p>5. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準</p>	<p>外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p>
<p>6. その他財務諸表作成のための基礎となる事項</p>	<p>(1)消費税等の会計処理</p> <p>固定資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は、発生会計期間の費用として処理しております。</p>

(重要な会計上の見積りに関する注記)

当事業年度の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌事業年度の財務諸表に重要な影響を

及ぼすリスクを認識していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表関係）

第24期事業年度 (2021年9月30日)		第25期事業年度 (2022年9月30日)	
1 固定資産の減価償却累計額		1 固定資産の減価償却累計額	
建物	347,117千円	建物	319,247千円
器具備品	240,661千円	器具備品	170,299千円

（株主資本等変動計算書関係）

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
普通株式	78,270	-	-	78,270

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
普通株式	78,270	-	-	78,270

（リース取引関係）

第24期事業年度 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		第25期事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
オペレーティング・リース取引 (借主側) オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料		オペレーティング・リース取引 (借主側) オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料	
1年以内	247,804千円	1年以内	152,300千円
1年超	686,810千円	1年超	266,525千円
合計	934,614千円	合計	418,826千円

（金融商品関係）

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は公募及び私募投資信託の設定、運用等の投資信託委託業務及び年金基金等に対して投資一任業務・投資助言業務を行っております。

資金運用については、安全性の高い金融資産で運用し、デリバティブ取引は行っておらず、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されております。

なお、その一部には外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されております。

営業債務であるその他未払金、未払手数料、未払費用は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。また、その一部には外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されております。

預金の一部には外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、未収運用受託報酬に関連して、機関投資家営業部業務マニュアルに従い、機関投資家営業部が主要な取引先の状況を定期的にモニタリングしております。

また、財務部が未収運用受託報酬を取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握を図っております。また、係る状況が発生した場合には、速やかに経営委員会において報告を行っております。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

当社は、外貨建ての預金、債権債務に関する為替の変動リスクに関して、経理規定に従い、財務部が外貨建ての預金及び債権債務残高を把握しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年9月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 投資有価証券 その他有価証券	101,000	101,000	-
(2) 長期差入保証金	88,045	88,045	-
資産計	189,045	189,045	-

(注) 1.

(1) 現金及び預金については、現金であること、及び預金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(2) 未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、投資有価証券（内、金銭信託）

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、記載を省略しております。

投資有価証券のうち、投資信託受益証券については、基準価額を基礎として時価を計上しております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」をご参照ください。

(3) その他未払金、未払手数料、未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、記載を省略しております。

(注) 2. 市場価額のない株式等は、「投資有価証券」には含めておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下の通りであります。

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
----	----------

非上場株式	9,285
-------	-------

(注)3. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内
未収入金	1,267,361	-
未収委託者報酬	631,603	-
未収運用受託報酬	1,110,294	-
未収投資助言報酬	3,198	-
投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	18,101	-
長期差入保証金	-	88,045
合計	3,030,557	88,045

3. 金融商品の時価等のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価額により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

「金融商品関係」の「2. 金融商品の時価等に関する事項」に記載の「その他有価証券」は、投資信託受益証券であり、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」第26項の経過措置を適用しており、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」第5-2項の注記を行っておりません。

当該投資信託受益証券の貸借対照表計上額は「金融商品関係」の「2. 金融商品の時価等に関する事項」に記載しております。

(2) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債以外の金融資産及び金融負債

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金	-	88,045	-	88,045

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

長期差入保証金

敷金の時価の算定は、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に当該建物の賃貸借契約期間を加味した利率で割り引いた現在価値より算定しております。

なお、「金融商品関係」の「2. 金融商品の時価等に関する事項」の(注)1に記載の通り、短期間で決済され、時価が帳簿価額にほぼ等しい金融資産及び金融負債は注記を省略しております。

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は公募及び私募投資信託の設定、運用等の投資信託委託業務及び年金基金等に対して投資一任業務・投資助言業務を行っております。

資金運用については、安全性の高い金融資産で運用し、デリバティブ取引は行っており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されております。

なお、その一部には外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されております。

営業債務であるその他未払金、未払手数料、未払費用は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。また、その一部には外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されております。

預金の一部には外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、未収運用受託報酬に関連して、機関投資家営業部業務マニュアルに従い、機関投資家営業部が主要な取引先の状況を定期的にモニタリングしております。

また、財務部が未収運用受託報酬を取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握を図っております。また、係る状況が発生した場合には、速やかに経営委員会において報告を行っております。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

当社は、外貨建ての預金、債権債務に関する為替の変動リスクに関して、経理規定に従い、財務部が外貨建ての預金及び債権債務残高を把握しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2022年9月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 長期差入保証金	24,520	24,520	-
資産計	24,520	24,520	-

(注) 1.

(1) 現金及び預金については、現金であること、及び預金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(2) 未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、投資有価証券（内、金銭信託）

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、記載を省略しております。

(3) その他未払金、未払手数料、未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、記載を省略しております。

(注) 2. 市場価額のない株式等は、「投資有価証券」には含めておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下の通りであります。

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	9,285

(注) 3. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内
長期差入保証金	-	24,520
合計	-	24,520

3. 金融商品の時価等のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価額により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債以外の金融資産及び金融負債

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金	-	24,520	-	24,520

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

長期差入保証金

敷金の時価の算定は、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に当該建物の賃貸借契約期間を加味した利率で割り引いた現在価値より算定しております。

なお、「金融商品関係」の「2. 金融商品の時価等に関する事項」の(注)1に記載の通り、短期間で決済され、時価が帳簿価額にほぼ等しい金融資産及び金融負債は注記を省略しております。

(有価証券関係)

第24期事業年度 (2021年9月30日)	第25期事業年度 (2022年9月30日)
--------------------------	--------------------------

<p>1. その他有価証券 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 金銭信託</p> <table> <tr> <td>貸借対照表計上額</td> <td>18,101千円</td> </tr> <tr> <td>取得原価</td> <td>18,101千円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>投資信託受益証券</p> <table> <tr> <td>貸借対照表計上額</td> <td>101,000千円</td> </tr> <tr> <td>取得原価</td> <td>101,000千円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>(注) 市場価格のない株式等(貸借対照表計上額9,285千円)については、「その他有価証券」には含めておりません。</p> <p>2. 当事業年度中に売却したその他有価証券 該当事項はありません。</p>	貸借対照表計上額	18,101千円	取得原価	18,101千円	差額	-	貸借対照表計上額	101,000千円	取得原価	101,000千円	差額	-	<p>1. その他有価証券 (注) 市場価格のない株式等(貸借対照表計上額9,285千円)については、「その他有価証券」には含めておりません。</p> <p>2. 当事業年度中に売却したその他有価証券 投資信託受益証券</p> <table> <tr> <td>売却額</td> <td>103,000千円</td> </tr> <tr> <td>売却益の合計額</td> <td>43千円</td> </tr> <tr> <td>売却損の合計額</td> <td>1,724千円</td> </tr> </table>	売却額	103,000千円	売却益の合計額	43千円	売却損の合計額	1,724千円
貸借対照表計上額	18,101千円																		
取得原価	18,101千円																		
差額	-																		
貸借対照表計上額	101,000千円																		
取得原価	101,000千円																		
差額	-																		
売却額	103,000千円																		
売却益の合計額	43千円																		
売却損の合計額	1,724千円																		

(退職給付関係)

第24期事業年度(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、確定給付企業年金制度、退職一時金制度、非積立型の確定給付制度及び確定拠出金制度を併用しております。

確定給付企業年金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金又は年金を支給します。

退職一時金制度では、退職給付として賞与のうち一定額を留保した金額を一時金として支給します。

非積立型の確定給付制度として退職一時金制度を設けております。

従業員の退職等に際しては、臨時で割増退職金を支払う場合があります。

確定給付企業年金制度、非積立型の確定給付制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付に係る負債及び資産並びに退職給付費用を計算しております。当事業年度に計上されている割増退職金は56百万円となります。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	162,540千円
合併による増加	82,639千円
退職給付費用	98,501千円
退職給付の支払額	232,846千円
前払年金費用	78,555千円
制度への拠出金	116,966千円
退職給付引当金の期末残高	<u>72,422千円</u>

(2) 退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付に係る資産及び負債の調整表

積立型制度の退職給付債務	1,100,402千円
年金資産	1,269,101千円

未認識年金資産	85,910千円
	<hr/>
	82,788千円
非積立制度の退職給付債務	72,422千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<hr/>
	10,365千円

退職給付引当金	72,422千円
前払年金費用	82,788千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<hr/>
	10,365千円

(3) 退職給付に関連する損益	
簡便法で計算した退職給付費用	98,501千円

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、5,335千円であります。

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、退職一時金制度及び確定拠出年金制度を併用しております。退職一時金制度では、基準給与に一定の割合を乗じた額を積み立て、一時金として支給します。退職一時金制度は、簡便法により退職給付に係る負債並びに退職給付費用を計算しております。また、当社は2021年10月に確定給付企業年金制度について確定拠出年金制度へ移行しました。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	72,422千円
制度変更による減少	59,268千円
退職給付費用	53,450千円
退職給付の支払額	3,712千円
退職給付引当金の期末残高	<hr/>
	62,893千円

(2) 退職給付に関連する損益	
簡便法で計算した退職給付費用	53,450千円

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、32,065千円であります。

(税効果会計関係)

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

千円

繰延税金資産	
繰越欠損金	409,181
役員退職慰労引当金	13,759
退職給付引当金	22,175
未払費用	51,251
未払金	93,600
有価証券評価損	27,776
長期差入保証金	55,418
繰延資産償却超過	7,641
未払事業税	5,302
その他	6,184
繰延税金資産小計	692,292
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額（注2）	280,998
将来減産一時差異等の合計に係る評価性引当額	124,643
評価性引当額（注1）	405,641
繰延税金資産合計	286,650
繰延税金負債	
前払年金費用	25,349
繰延税金負債合計	25,349
繰延税金資産の純額	261,300

（注）

1. 評価性引当金が305,566千円増加しております。この増加の主な内容は、合併による増加、及び税務上の繰越欠損金に関する評価性引当金額が増加したことに伴うものであります。
2. 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限の金額

千円

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超	合計
税務上の繰越 欠損金(a)	268,061	104,739	0	28,900	7,479	409,181
評価性引当額	139,878	104,739	0	28,900	7,479	280,998
繰延税金資産	128,183	0	0	0	0	(b)128,183

(a) 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

(b) 課税所得が見込まれることにより、税務上の繰越欠損金は回収可能と判断しております。

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	(%)
法定実効税率	30.6
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	3.1
住民税均等割	0.3
過年度法人税等戻入額	2.0
合併による評価性引当金額増加額	174.5
評価性引当金	78.7
繰越欠損金	56.8
その他	0.3
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>7.3</u>

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別内訳

	千円
繰延税金資産	
退職給付引当金	19,257
未払費用	47,896
未払金	102,251
有価証券評価損	27,776
長期差入保証金	44,857
繰延資産償却超過	4,029
未払事業税	16,173
その他	2,332
繰延税金資産小計	<u>264,574</u>
評価性引当額（注1）	<u>103,715</u>
繰延税金資産合計	<u><u>160,859</u></u>

（注）

1. 評価性引当金が301,926千円減少しております。この減少の主な内容は、税務上の繰越欠損金に関する評価性引当金額が減少したことに伴うものであります。

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	(%)
法定実効税率	30.6
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.4
住民税均等割	0.3
過年度法人税等戻入額	0.9
評価性引当金	24.3
繰越欠損金	21.6
その他	1.1
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>27.6</u>

（資産除去債務関係）

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 当該資産除去債務の概要

当社は、本社オフィスの賃貸借契約において、建物所有者との間で賃室賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約上の義務に関して資産除去債務を認識しております。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を144ヶ月と見積り、資産除去債務の金額を計算しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する差入保証金が計上されているため、当該差入保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

3. 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首における資産除去債務認識額	146,496千円
合併による増加額	32,550千円
その他増減額（は減少）	1,941千円
期末における資産除去債務認識額	180,987千円

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 当該資産除去債務の概要

当社は、本社オフィスの賃貸借契約において、建物所有者との間で賃室賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約上の義務に関して資産除去債務を認識しております。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を75ヶ月と見積り、資産除去債務の金額を計算しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する差入保証金が計上されているため、当該差入保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

3. 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首における資産除去債務認識額	180,987千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	-千円
その他増減額（は減少）	34,491千円
期末における資産除去債務認識額	146,496千円

（セグメント情報等関係）

〔セグメント情報〕

当社の報告セグメントは投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

〔関連情報〕

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 製品およびサービスごとの情報

（単位：千円）

	投資信託 委託業務	投資一任業務	投資助言業務	業務の受託	その他	合計

外部顧客への営業収益	4,490,345	1,211,134	7,102	2,185,683	2,112	7,896,378
------------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

	日本	ルクセンブルグ	米国	その他	合計
委託者報酬	4,490,345	-	-	-	4,490,345
運用受託報酬	1,179,781	-	1,604	29,748	1,211,134
投資助言報酬	7,102	-	-	-	7,102
業務受託報酬	-	1,003,958	1,181,711	13	2,185,683

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	1,445,476
フランクリン テンプレトン カンパニーズ エルエルシー	1,181,704
フランクリン テンプレトン インターナショナル サービスS.A.R.L.	1,003,958

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第24期事業年度(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第24期事業年度(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

報告セグメントごと負ののれん発生益に関する情報

第24期事業年度(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

第25期事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

1. 製品およびサービスごとの情報

(単位：千円)

	投資信託委託業務	投資一任業務	投資助言業務	業務の受託	その他	合計
外部顧客への営業収益	7,902,810	3,850,773	7,801	4,879,107	17,536	16,658,030

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

	日本	ルクセンブルグ	米国	その他	合計
委託者報酬	7,902,810	-	-	-	7,902,810
運用受託報酬	3,802,571	-	3,076	45,125	3,850,773
投資助言報酬	7,801	-	-	-	7,801
業務受託報酬	-	2,678,804	2,200,303	-	4,879,107

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益
フランクリン テンプルトン インターナショナル サービスS.A.R.L.	2,493,286
LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2,354,774
フランクリン テンプルトン カンパニーズ エルエルシー	2,200,265

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

報告セグメントごと負ののれん発生益に関する情報

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

(収益認識に関する注記)

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、注記事項（セグメント情報等関係）の[関連情報]、「2.地域ごとの情報」（1）営業収益に記載の通りであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

重要な会計方針の4.収益及び費用の計上基準に記載の通りであります。

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、注記事項（セグメント情報等関係）の[関連情報]、「2.地域ごとの情報」（1）営業収益に記載の通りであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

重要な会計方針の4.収益及び費用の計上基準に記載の通りであります。

(関連当事者情報)

第24期事業年度（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

(単位：千円)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末残高
親会社	フランクリン リソース インク	米国 デラウェア州	50.2 百万 米ドル	持株会社	(被所有) 間接 100%	業務委託 関係	本部共通 経費の支払 (注2)	5,804	未払 費用	55,383

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	ウエスタン・ アセット・ マネジメント・ カンパニー・ エルエルシー	米国 カリフォルニア 州	-	金融業	-	役員の兼任 業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	440,194	未払 費用	68,020
同一の親会社を持つ会社	ウエスタン・ アセット・ マネジメント・ カンパニー・ ピーティーワイ・ リミテッド	オーストラリア ビクトリア州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	617,690	未払 費用	157,754
同一の親会社を持つ会社	フランクリン・ テンプレートン・ オーストラリア・ リミテッド	オーストラリア ビクトリア州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	1,448,661	未払 費用	221,764
同一の親会社を持つ会社	フランクリン・ テンプレートン・ カンパニー・ エルエルシー	米国 デラウェア州	-	一般業務 委託請負 会社	-	業務委託 関係	業務の 受託 (注3)	1,181,704	未収 入金	1,189,274
							総務・経 理・イン フォメー ションテク ノロジー業 務等の委託 (注4)	260,061	未払 費用	262,789

同一の親会社を持つ会社	フランクリン・アドバイザーズ・インク	米国 カリフォルニア州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	180,258	未払 費用	134,573
同一の親会社を持つ会社	フランクリン・テンブルトン・インターナショナル・サービス・S.A.R.L.	ルクセンブルグ	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 受託 (注3)	1,003,958	未収 入金	41,250
同一の親会社を持つ会社	K2/D&S マネジメント・カンパニーズ・エルエルシー	米国 デラウェア州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	288,684	未払 費用	574,533

（取引条件及び取引条件の決定方針等）

（注1）取引金額及び期末残高には消費税等が含まれておりません。

（注2）本部共通経費の支払については、当業務に関する役務提供割合を勘案して合理的な金額を支払っております。

（注3）業務受託報酬については、当社が提供する役務に係る人件費、システム利用料等の経費相当額に基づいて算出しております。

（注4）総務・経理・インフォメーションテクノロジー業務等の委託については、コーポレートサービスフィー契約に基づいて算出された業務委託料金を支払っております。

（注5）業務委託報酬については、当社に提供される役務に係る人件費、システム利用料等の経費相当額に基づいて算出されております。

（注6）レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドは2021年10月にフランクリン・テンブルトン・オーストラリア・リミテッドに商号変更しました。

（注7）QSインベスターズ・エルエルシーは2021年8月にフランクリン・アドバイザーズ・インクと合併し商号変更しました。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

フランクリン・リソーシズ・インク（ニューヨーク証券取引所に上場）

レグ・メイソン・インク（非上場）

テンブルトン・ワールドワイド・インク（非上場）

テンブルトン・インターナショナル・インク（非上場）

フランクリン・テンブルトン・キャピタル・ホールディングス・プライベート・リミテッド（非上場）

第25期事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

（単位：千円）

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又 は出資金	事業の 内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末残高
親会社	フランクリン リソーシズ インク	米国 デラウェア州	50.2 百万 米ドル	持株会社	(被所 有) 間接 100%	業務委託 関係	本部共通 経費の支払 (注2)	4,025	未払 費用	52,340

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又 は出資金	事業の 内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末残高
同一の親 会社を持 つ会社	ウエスタン・ アセット・ マネジメン ト・カンパ ニー・エル エルシー	米国 カリフォル ニア州	-	金融業	-	役員の兼 任 業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	826,817	未払 費用	70,331
同一の親 会社を持 つ会社	ウエスタン・ アセット・ マネジメン ト・カンパ ニー・ビー ティーワイ ・リミテッ ド	オーストラ リア ビクトリア 州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	1,048,936	未払 費用	130,053
同一の親 会社を持 つ会社	ブランディ ワイン・グ ローバル・ インベス トメント・ マネジメ ント・エル エルシー	米国 ペンシルバ ニア州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	2,097,599	未払 費用	43,486
同一の親 会社を持 つ会社	フランクリ ン・テンブ ルトン・オ ーストラリ ア・リミテ ッド	オーストラ リア ビクトリア 州	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 委託 (注5)	2,383,518	未払 費用	181,027
同一の親 会社を持	フランクリ ン・テンブ ルトン・	米国 デラウェア 州	-	一般業務 委託請負	-	業務委託 関係	業務の 受託 (注3)	2,200,265	未収 入金	187,720

つ会社	カンパニーズ・ エルエルシー			会社			総務・経 理・イン フォメー ションテク ノロジー業 務等の委託 (注4)	818,232	未払 費用	87,197
同一の親 会社を持 つ会社	フランクリン・ テンプルトン・ インターナショナル・ サービス・ S.A.R.L.	ルクセンブルグ	-	金融業	-	業務委託 関係	業務の 受託 (注3)	2,493,050	未収 入金	210,020

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注1) 取引金額及び期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2) 本部共通経費の支払については、当業務に関する役務提供割合を勘案して合理的な金額を支払っております。

(注3) 業務受託報酬については、当社が提供する役務に係る人件費、システム利用料等の経費相当額に基づいて算出しております。

(注4) 総務・経理・インフォメーションテクノロジー業務等の委託については、コーポレートサービスフィー契約に基づいて算出された業務委託料金を支払っております。

(注5) 業務委託報酬については、当社に提供される役務に係る人件費、システム利用料等の経費相当額に基づいて算出されております。

(注6) レッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドは2021年10月にフランクリン・テンプルトン・オーストラリア・リミテッドに商号変更しました。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

フランクリン・リソーシズ・インク(ニューヨーク証券取引所に上場)

レッグ・メイソン・インク(非上場)

テンプルトン・ワールドワイド・インク(非上場)

テンプルトン・インターナショナル・インク(非上場)

フランクリン・テンプルトン・キャピタル・ホールディングス・プライベート・リミテッド(非上場)

(1株当たり情報)

第24期事業年度 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	第25期事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
--	---

1株当たり純資産額	46,009円99銭	1株当たり純資産額	57,453円55銭
1株当たり当期純利益金額	5,316円19銭	1株当たり当期純利益金額	11,443円56銭
(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下の通りであります。		(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下の通りであります。	
当期純利益	416,098千円	当期純利益	895,687千円
普通株式に帰属しない金額	-	普通株式に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益	416,098千円	普通株式に係る当期純利益	895,687千円
期中平均株式数	78千株	期中平均株式数	78千株
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(企業結合等関係)

第24期事業年度(自2021年4月1日至2021年9月30日)

共通支配下の取引

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業内容

結合当事企業の名称：フランクリン・templton・インベストメンツ株式会社(以下「FTIJ」)

事業の内容：資産運用業務

(2) 企業結合日

2021年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、FTIJを消滅会社とする吸収合併

(4) 企業結合後の名称

フランクリン・templton・ジャパン株式会社(旧社名 レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社)

(5) 企業結合の目的

この企業結合により日本法人の業務効率の向上と体制強化を図ることで、よりクオリティの高い顧客サービスの提供やより顧客ニーズにあった商品紹介を可能とすることを目指します。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しました。

第25期事業年度(自2021年10月1日至2022年9月30日)

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

中間財務諸表

（1）中間貸借対照表

（単位：千円）

第26期中間会計期間末

（2023年3月31日）

資 産 の 部	
流動資産	
現金及び預金	3,812,829
前払費用	66,298
未収委託者報酬	621,664
未収運用受託報酬	1,632,829
未収投資助言報酬	1,546
その他未収収益	11,618
未収入金	491,311
立替金	48
流動資産計	6,638,146
固定資産	
有形固定資産	
建物	1 43,739
器具備品	1 20,634
有形固定資産計	64,373
無形固定資産	
ソフトウェア	4,016
無形固定資産計	4,016
投資その他の資産	
投資有価証券	9,285
長期差入保証金	24,520
繰延税金資産	126,823
投資その他の資産計	160,629
固定資産計	229,018
資産合計	6,867,165

（単位：千円）

第26期中間会計期間末

（2023年3月31日）

負 債 の 部	
流動負債	
預り金	23,494

未払金	287,364
未払手数料	168,251
未払消費税等	86,123
その他未払金	31,518
未払収益分配金	1,469
未払費用	1,486,368
賞与引当金	180,553
未払法人税等	45,461
前受金	56,523
流動負債計	2,079,765
固定負債	
退職給付引当金	87,559
その他固定負債	19,579
固定負債計	107,138
負債合計	2,186,903
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000,000
資本剰余金	
資本準備金	226,405
その他資本剰余金	647,958
資本剰余金計	874,364
利益剰余金	
利益準備金	23,594
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	2,782,303
利益剰余金計	2,805,897
株主資本計	4,680,261
純資産合計	4,680,261
負債・純資産合計	6,867,165

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

第26期中間会計期間	
(自 2022年10月 1日	
至 2023年 3月31日)	
営業収益	
委託者報酬	3,653,495
運用受託報酬	1,610,182
業務受託報酬	2,281,829
投資助言報酬	1,844
その他営業収益	6,178
営業収益計	7,553,530
営業費用	5,535,673
一般管理費	1 1,739,815
営業利益	278,041

営業外収益	
受取利息	32
雑収益	1,083
営業外収益計	1,115
営業外費用	
投資有価証券売却損	77
為替差損	14,580
固定資産除却損	99
雑損失	43
営業外費用計	14,800
経常利益	264,356
税引前中間純利益	264,356
法人税、住民税及び事業税	46,949
法人税等調整額	34,035
法人税等合計	80,984
中間純利益	183,371

(3) 中間株主資本等変動計算書

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金			利益剰余金				
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	1,000,000	226,405	647,958	874,364	23,594	2,598,931	2,622,525	4,496,889	4,496,889
当中間期変動額									
中間純利益	-	-	-	-	-	183,371	183,371	183,371	183,371
株主資本以外 の項目の当中 間期変動額 (純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額 合計	-	-	-	-	-	183,371	183,371	183,371	183,371
当中間期末残高	1,000,000	226,405	647,958	874,364	23,594	2,782,303	2,805,897	4,680,261	4,680,261

[注記事項]

重要な会計方針

項 目	第26期中間会計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日)
-----	--

1.資産の評価基準及び評価方法	有価証券 その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 中間期末日の市場価額等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法
2.固定資産の減価償却の方法	(1)有形固定資産 定額法によっております。 なお、主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 6～18年 器具備品 3～8年 (2)無形固定資産 ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
3.引当金の計上基準	(1)賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支給見込額のうち当中間会計期間末までの期間に係る部分の金額を計上しております。 (2)退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る中間会計期間末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、投資運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、業務受託報酬及び投資助言報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

収益は次の5つのステップを適用し認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価額を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価額を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

委託者報酬は投資信託の信託約款に基づきファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の履行義務を負っており、日々の運用ファンドの純資産総額に各報酬率を乗じて算出されます。当該履行義務は運用期間において日々充足されると判断し、運用期間にわたり収益として認識しております。

運用受託報酬は対象顧客との投資一任契約に基づき投資一任業務の履行義務を負っており、口座の計算期間における日次又は月次の受託資産の時価平均に、契約書に記載された一定の報酬率（もしくは段階報酬率）を乗じて算出されます。当該履行義務は運用期間にわたり日々充足されると判断し、サービス提供期間にわたり収益として認識しております。

成功報酬は対象顧客との投資一任契約に基づき特定のベンチマーク又はその他のパフォーマンス目標を上回る運用履行義務を負っており、口座の計算期間における日次又は月次の受託資産の時価平均に、契約書に記載された成功報酬率を乗じて算出されます。当該履行義務は口座の計算期間末において充足され、期末時点で将来著しい減額が発生しない可能性が高いと見込まれた時点で収益として認識しております。

投資助言報酬は対象顧客との投資助言契約に基づき投資助言業務の履行義務を負っており、口座の計算期間における日次又は月次の受託資産の時価平均に、契約書に記載された一定の報酬率（もしくは段階報酬率）を乗じて算出されます。当該履行義務は運用期間にわたり日々充足されると判断しサービス提供期間にわたり収益として認識しております。

業務受託報酬は、当社の関係会社とのサービス契約書に基づき営業・マーケティング・オペレーショナル・アドミニストレーションなどのサポートを提供する履行義務を負っており、月々の実際の費用額にグループ全体で適用されている移転価格税制ポリシーで定められたマークアップが加算されて算出されます。当該履行義務はサービス期間にわたり充足されると判断しサービス提供期間にわたり収益として認識しております。

5. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. その他中間財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

固定資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は、発生会計期間の費用として処理しております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

当中間会計期間の中間財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当中間会計期間以降の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを認識していないため、注記を省略しております。

（中間貸借対照表関係）

第26期中間会計期間末 2023年3月31日	
1 有形固定資産の減価償却累計額	
建物	327,768千円
器具備品	137,601千円

（中間損益計算書関係）

第26期中間会計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日)	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	12,631千円
無形固定資産	623千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第26期中間会計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日)				
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項				
株式の種類	当事業年度期首 (株)	当中間会計期間増加 (株)	当中間会計期間減少 (株)	当中間会計期間末 (株)
普通株式	78,270	-	-	78,270

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,400,000	17,886.8	2023年 3月31日	2023年 6月23日

（リ - ス取引関係）

第26期中間会計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日)	
--	--

オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年以内 152,300千円

1年超 190,375千円

合計 342,675千円

(金融商品関係)

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

1. 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 長期差入保証金	24,520	24,520	-
資産計	24,520	24,520	-

(注) 1.

(1) 現金及び預金については、現金であること、及び預金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(2) 未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、投資有価証券（内、金銭信託）

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、記載を省略しております。

(3) その他未払金、未払手数料、未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、記載を省略しております。

(注) 2. 市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額は以下の通りであります。

(単位：千円)

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	9,285

2. 金融商品の時価等のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価額により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって中間貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債以外の金融資産及び金融負債

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金	-	24,520	-	24,520

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

長期差入保証金

敷金の時価の算定は、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に当該建物の賃貸借契約期間を加味した利率で割り引いた現在価値より算定しております。

なお、「金融商品関係」の「1. 金融商品の時価等に関する事項」の(注)1に記載の通り、短期間で決済され、時価が帳簿価額にほぼ等しい金融資産及び金融負債は注記を省略しております。

(有価証券関係)

第26期中間会計期間末 2023年3月31日	
1. その他有価証券	
該当事項はありません。	
市場価格のない株式等（中間貸借対照表計上額9,285千円）については、「その他有価証券」には含めておりません。	

(資産除去債務関係)

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減

当中間会計期間期首における資産除去債務認識額	146,496千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	- 千円
その他増減額（は減少）	- 千円
当中間会計期間末における資産除去債務認識額	<u>146,496千円</u>

(収益認識に関する注記)

第26期中間会計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、注記事項（セグメント情報等関係）の[関連情報]、「2. 地域ごとの情報」（1）営業収益に記載の通りであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

重要な会計方針の4. 収益及び費用の計上基準に記載の通りであります。

（セグメント情報等関係）

〔セグメント情報〕

当社の報告セグメントは投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

〔関連情報〕

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	投資信託 委託業務	投資一任業務	投資助言業務	業務の受託	その他	合計
外部顧客への 営業収益	3,653,495	1,610,182	1,844	2,281,829	6,178	7,553,530

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

（単位：千円）

	日本	ルクセンブルグ	米国	その他	合計
委託者報酬	3,653,495	-	-	-	3,653,495
運用受託報酬	1,590,650	-	1,356	18,174	1,610,182
投資助言報酬	1,844	-	-	-	1,844
業務受託報酬	-	1,093,552	1,188,277	-	2,281,829

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益
フランクリン テンプレトン インターナショナル サービスS.A.R.L.	1,093,552
フランクリン テンプレトン カンパニーズ エルエルシー	1,061,425
フランクリン・テンプレトン・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	1,025,778

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第26期中間会計期間（自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

（ 1 株当たり情報）

第26期中間会計期間 （自 2022年10月 1日 至 2023年3月31日）	
1 株当たり純資産額	59,796円36銭
1 株当たり中間純利益金額	2,342円80銭
<p>（注）1. なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p> <p>2. 1株当たり中間純利益金額の算定の基礎は以下のとおりであります。</p>	
中間純利益金額	183,371千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益金額	183,371千円
期中平均株式数	78,270株

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- （1）自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- （2）運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- （3）通常の見積りの条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下（4）、（5）において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引または金融デリバティブ取引を行なうこと。
- （4）委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。
- （5）上記（3）、（4）に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

- （1）定款の変更等
該当事項はありません。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される訴訟事件などは発生していません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名 称	資本金の額 (2022年3月末現在)	事業の内容
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概要>

名称 : 株式会社日本カストディ銀行

資本金の額 : 51,000百万円(2022年3月末現在)

事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的 : 原信託契約にかかる信託業務の一部(信託財産の管理)を原信託受託者から再信託受託者(株式会社日本カストディ銀行)へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託者へ移管することを目的とします。

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 (2022年3月末現在)	事業の内容
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(3) 投資顧問会社

名称

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ディーティーブイエム・リミターダ

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド

ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社

資本金の額

・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー

・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド

・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ディーティーブイエム・リミターダ

・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド

・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド

非公開

・ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社

2022年3月末現在 1,000百万円

事業の内容

資産運用業務等を行っています。

2【関係業務の概要】

- (1) 受託会社
ファンドの信託財産に属する有価証券の管理・計算事務などを行ないます。
- (2) 販売会社
日本におけるファンドの募集、解約、収益分配金および償還金の取扱いなどを行ないます。
- (3) 投資顧問会社
委託会社から、マザーファンドの運用指図権限の委託を受け当該ファンドの運用（投資一任）を行ないます。

3【資本関係】

- (1) 受託会社
該当事項はありません。
- (2) 販売会社
該当事項はありません。
- (3) 投資顧問会社
直接の資本関係はありません。

第3【その他】

- (1) 目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を使用します。
- (2) 目論見書の表紙、表紙裏または裏表紙に、以下を記載することがあります。
 - 委託会社の金融商品取引業者登録番号および設立年月日
 - ファンドの基本的性格など
 - 委託会社およびファンドのロゴ・マークや図案など
 - 委託会社のホームページや携帯電話サイトのご案内など
 - 目論見書の使用開始日
- (3) 目論見書の表紙または表紙裏に、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。
 - 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。
 - 投資信託は、元金および利回りが保証されているものではない旨の記載。
 - 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入されたお客様が負う旨の記載。
 - 「金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書である。」旨の記載。
 - 「ご購入に際しては、目論見書の内容を十分にお読みください。」という趣旨の記載。
 - 請求目論見書の入手方法（ホームページで閲覧、ダウンロードできるなど）についての記載。
 - 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行なった場合にはその旨の記録をしておくべきである旨の記載。
 - 「約款が請求目論見書に掲載されている。」旨の記載。
 - 商品内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認する旨の記載。
 - 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨の記載。
 - 有価証券届出書の効力発生およびその確認方法に関する記載。
 - 委託会社の情報として記載することが望ましい事項と判断する事項がある場合は、当該事項の記載。
- (4) 交付目論見書の投資リスクに、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。
 - ファンドの取引に関して、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用がない旨の記載。
 - 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはな

らない旨の記載。

- (5) 有価証券届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表などを付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (6) 目論見書に約款を掲載し、有価証券届出書本文「第二部 ファンド情報」中「第1 ファンドの状況」「2 投資方針」の詳細な内容につきましては、当該約款を参照する旨を記載することで、目論見書の内容の記載とすることがあります。
- (7) 投信評価機関、投信評価会社などによる評価を取得・使用する場合があります。
- (8) 目論見書は電子媒体などとして使用されるほか、インターネットなどに掲載されることがあります。
- (9) 交付目論見書の手続・手数料等に、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。
 - 当初元本額についての記載。
 - 基準価額が日本経済新聞に掲載される旨および掲載略称。
 - 所得税には、復興特別所得税が含まれる旨。

独立監査人の監査報告書

2022年12月14日

フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社

取締役会 御中

PWCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 久保直毅
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社の2021年10月1日から2022年9月30日までの第25期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社の2022年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査役の実務責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の実務責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を

を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2022年12月15日

フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 福村 寛
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）の2021年10月12日から2022年10月11日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）の2022年10月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2023年6月19日

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 久保直毅

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社の2022年10月1日から2023年9月30日までの第26期事業年度の中間会計期間（2022年10月1日から2023年3月31日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社の2023年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2022年10月1日から2023年3月31日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎とな

る取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2023年6月22日

フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 福村 寛

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）の2022年10月12日から2023年4月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）の2023年4月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2022年10月12日から2023年4月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程

を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれておりません。